KENWOOD

MP3/WMA/AAC対応 CDレシーバー

L909

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、
説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
Kenwood Corporation

使いこなし!
ファンクショナルオペレーション

Functional Operation

ここさえ読めばひとまずOK!
イージーオペレーション

EZ Operation

困ったときは…

Help

© B64-3062-00/00 (JW)

Contents

ここを読まなければ操作できない！
この取扱説明書を読むルールが書いてあります。

本書の読みかた

ここさえ読めばひとまずOK!
イージーオペレーション

EZ Operation

リモコンでも操作できるゾ！

リモートコントロール

思ったとおりに動作しなかったとき
わからない用語が出てきたら…
困ったときのお助けページ！

Help

取り付け方法など

付　録

使いこなし!　ファンクショナルオペレーション

Functional Operation

オプションも使いこなそう！　オプションズ

Options

本書の読みかた

この取扱説明書では、本機の使いかたや別売品を大きく次の４つのブロックに分けて説明しています。

ここさえ読めばひとまずOK!
イージーオペレーション

すぐに使いたいかたのために、必要最小限の機能をできるだけ簡単に説明しています。
ここだけ読めば､とりあえずお使いいただけます。

使いこなし!　ファンクショナルオペレーション

Functional Operation

EZ Operationを習得したらここへ。
すべての機能をステップバイステップで説明しています。ここを読めば、十分に使いこなすことができます。

オプションも使いこなそう! オプションズ

Options

本機に接続できる別売品の機能の使いかたを説明しています。
別売品を接続しているときにお読みください。

Help

? MP3/WMA/AAC	プレイできる音楽ファイルの説明をしています。
? Multi Key system	マルチコントロールモードについて説明しています。
? ACDrive	ACDriveディスク(Media Maneger)の説明をしています。
? Operation	思ったとおりに動作しなかったときの原因と対策を説明しています。
? Word	取扱説明書やディスプレイに表示される用語を解説しています。

これらのほかに、リモコンによる操作を説明した［リモートコントロール]、本機の取り付け方法などを説明した［付録］があります。

取扱説明書に記載されているディスプレイ部やパネルの表記は操作説明を円滑に行うための表示例です。このため、実際の機器とは異なることや、実際にはありえない表示パターンが記載されていることがあります。

本文でのマークについて

共通の操作
ソースにかかわらない共通の操作を表しています。

CD/メディアの操作
CD/MP3/WMA/AAC/ACDriveをプレイする操作を表しています。

チューナーの操作
FM/AM放送を受信する操作を表しています。

注意
ケガなどを防ぐための大切な注意事項を表しています。

メモ
本機の損傷を防ぐための注意事項を表しています。
また、機能・使用方法の制限や使いかたのアドバイスも表しています。

短く押す
ボタンをチョンと押すことを表します。

１秒以上押す
1秒以上（メモリーに書き込むときは2秒以上）押す操作を表しています。

動作が始まるまで、または画面の表示が変わるまでボタンを押し続けることを表します。
通常、１秒間押します。また、メモリーに書き込むときには２秒間押します。押す秒数は矢印の中の表示を目安にできます。

矢印の方向に押す
矢印の方向にボタンを押すことを表します。

選んで押す
ノブを回し項目を選んでから押すこと表します。

Functional Operation

KENWOOD

ATT

NEXT ■MENU

VOL

AUD ■SET UP

TI ■AME

A　B

この辺ボタンABC…
操作するボタンがどこにあるのか…、位置を表すためのマークです。

ソース選択

プレイするソースを切り替えます。

C　SRC

ディスプレイ表示スクロール
ボタンを押すたびに切り替わるモードや表示を表します。

TUNER	FM/AM放送を受信
Compact Disc	CD/MP3/WMA/AACをプレイ
AUX	内蔵AUXに入力された
STANDBY	電源をオンのままで機能を停止

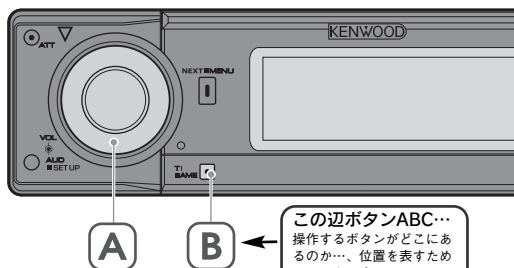
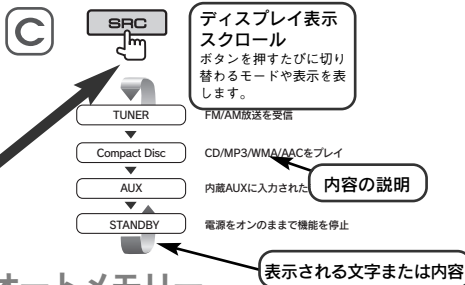
内容の説明

表示される文字または内容

オートメモリー

受信状態の良い放送局を自動的に選んでメモリーします。

B　2秒　TI ■AME

FM1-Ach 82.5

ディスプレイ表示
このディスプレイが表示されるまでボタンを押すことを表します。

周波数が次々に変わるまで押し続けます。

トラックサーチ

順に曲を選びます。

D　FM+■SCRL

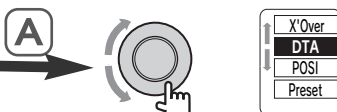
曲の先頭/前の曲

次の曲

サウンドフィールドコントロール

設定したい項目を選びます

A

X'Over
DTA
POSI
Preset

ソースセレクション

上記マーク表記例は実際の操作とは異なります。

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため「安全上のご注意」をご使用の前によくお読みください。

絵表示について：
この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為にいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。

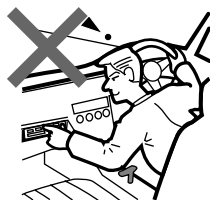
絵表示の例

⚠記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

❗記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な指示内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

交通事故の発生を防ぐため、必ず以下の事項をお守りください。

運転者が以下のような行為をするときは、必ず、安全な場所に車を停車させてから、行ってください。

● カーオーディオの操作（音量調節、ディスクの挿入・取り出し　など）

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。

以下のような異常があった場合は、直ちに使用を中止し、購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へご相談ください。そのまま使用すると、火災その他の事故の原因となります。

●音が出ない
●ディスプレイが表示されない
●異物が入った
●水がかかった
●煙が出る
●変な匂いがする

禁 止

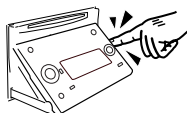
修理は必ず購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所にご依頼ください。お客様による修理は、火災その他の事故の原因となります。

禁 止

製品の分解や改造はしないでください。火災その他の事故の原因となります。

⚠注意

禁 止

操作パネル部の開閉中には、手や指を近づけないでください。挟まれてケガをすることがあります。

禁 止

ディスク挿入口に手や指を入れないでください。ケガをすることがあります。

禁 止

本製品内に水や異物を入れないでください。発煙、発火、感電の原因となります。

禁 止

製品は、車載用以外としての用途では使用しないでください。

禁 止

本製品に、強い衝撃を与えないようにしてください。ガラス部品を使用しているため、割れてケガをするおそれがあります。

実 施

本製品の取り付け・配線は技術と経験が必要です。安全のため＜お買い上げの販売店＞にご依頼ください。

使用上のご注意

本機に接続できるシステムについて

本機には、1998年以降に発売のケンウッド製ディスクチェンジャー、LX-BUS接続のTVモニターやナビゲーションシステムが接続できます。接続できるディスクチェンジャー、LX-BUS接続のTVモニターやナビゲーションシステムの機種はカタログをご覧ください。

●

1997年以前に発売のケンウッド製ディスクチェンジャー／CDプレーヤー、および他社製のディスクチェンジャーは接続することはできません。接続すると破損や故障の原因となります。

●

“O-Nスイッチ”の付いているケンウッド製ディスクチェンジャーは“N”側に設定してください。

●

接続している機種により、使用できる機能や表示できる情報が異なる場合があります。

●

別売品のCD/MDチェンジャースイッチングユニット“KCA-S210A”を使用するとディスクチェンジャーを2台まで、またはディスクチェンジャーとLX-BUS接続の機器を１台ずつ接続することができます。接続などの詳しい説明は「接続」（100ページ）および、KCA-S210Aに付属の取扱説明書をご覧ください。

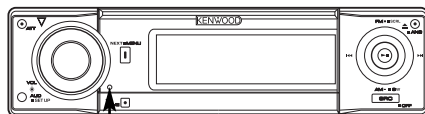
取り付け時の注意

直射日光のあたる場所、熱風のあたる場所、水のかかる場所、しっかり取り付けのできない場所、振動の多い場所には設置しないでください。

オートアンテナ付き車に取り付けた場合

ラジオのアンテナが自動的に伸びるオートアンテナ車に取り付けた場合、チューナーモードにしたり交通情報機能をオンにすると、車両のアンテナが自動的に伸びます。
天井の低い車庫に入る場合は、本機の電源をオフにするか、FM/AM放送以外のソースに切り替えてください。

本機の異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、まず「Help?」(78ページ)を参照して解決方法がないかお調べください。解決方法が見つからないときは、本機のリセットボタンをペン先などで押してください。

リセットボタン

●

リセットボタンを押しても正常に戻らないときは、本機の電源をオフにして、購入店またはお近くのケンウッドサービスセンターへ相談してください。

デモンストレーションモードについて

本機の機能をディスプレイに表示するデモンストレーションモードがオンになっています。本機を使用する前に、必ずデモンストレーションモードをオフ（69ページ）にして使用してください。

温度について

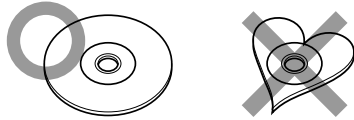
直射日光下で窓を閉めきっていると、自動車内は非常に高温になります。
本機内部が60℃を越える高温になると、保護回路が働いてディスクの演奏ができなくなります。
このようなときは、車内の温度を下げてください。保護回路機能が解除され、演奏ができる状態になります。もし正常に動作しないときはリセットボタンを押してください。

結露について

寒いときにヒーターを付けた直後など、本機の内部に露（水滴）が付くことがあります。これを結露といい、この状態ではディスクの読み取りができなくなります。
このようなときは、ディスクを取り出して約１時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。
もし、何時間たっても正常に作動しない場合は、購入店またはケンウッドサービスセンターへ連絡してください。

使用できないCD

特殊な形状のCDは使用できません。必ず円形のものをご使用ください。円形以外のCDを使用すると故障の原因になります。

●

記録面（レーベル面の反対側）が着色してあるものや汚れているCDは引き込まない、取り出せないなどの誤動作をすることがあります。

●

マークの付いていないCDは使用しないでください。
前記マークの入っていないディスクは、プレイが正しくできない場合があります。

●

ファイナライズ処理を行っていないCD-RおよびCD-RWは再生できません。（ファイナライズ処理については、お使いのCD-R/CD-RWライティングソフトやCD-R/CD-RWレコーダーの説明書をご覧ください）
このほかにもCD-RやCD-RWで記録されたCDは、記録状態により再生できない場合があります。

●

レーベル面にシールの貼ってあるCDを使用すると、CDが変形したり、シールがはがれることがあります。本機の故障の原因となることもあるため、レーベル面にシールの貼ってあるCDは使用しないでください。

●

インクジェットプリンターでレーベル面に印刷可能なCD-R/CD-RWは使用しないでください。使用すると、誤動作することがあります。

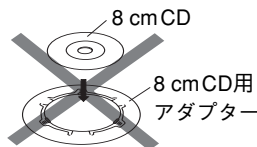
レンズクリーナーについて

レンズクリーナーは使用しないでください。光学系部品に損傷を与えたり、イジェクトができなくなるなど、故障の原因になる場合があります。

CD用アクセサリーについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリー（スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど）は故障の原因となりますので使用しないでください。

●

8cmCDはアダプターは使用せず、そのまま挿入してください。8cmCDアダプターを使用するとディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因になります。
また、接続するCDチェンジャーで8cmCDを使用する場合は別売の8cmCD用マガジンをご使用ください。

本機のお手入れについて

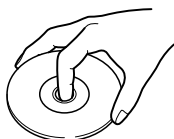
本機の前面パネルが汚れたときは、シリコンクロスか柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、中性のクリーナーをいったん布に付けてから汚れを落とし、その後洗剤を拭き取ってください。
スプレー式のクリーナーなどを直接本機に吹きかけると、本機の機構部品に支障を与えたり、固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のもので拭くと、傷が付いたり文字が消えることがあります。

操作パネルのお手入れについて

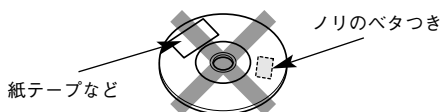
本機や操作パネルの端子が汚れたときは、乾いた柔らかい布で拭いてください。

CDの取り扱い

CDの取り扱いについて

CDの汚れや、ゴミ、キズ、反りなどが、音飛びなどの誤動作や、音質劣化の原因になることがあります。取り扱いは記録面に触れないようにしてください。（レーベルが印刷されていない面が記録面です）

CD-RやCD-RWは通常の音楽CDより反射膜が弱いため、傷が付くことなどにより、はがれることがあります。また、指紋による音飛びにも弱いメディアです。取り扱いには十分注意をしてください。詳細な注意事項がCD-RおよびCD-RWのパッケージなどにも書かれています。それらの注意事項も読んでから使用してください。

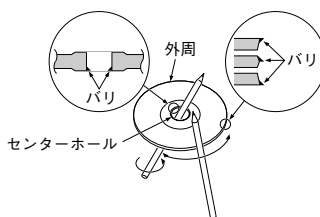
●

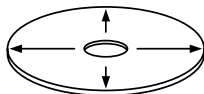
記録面や、レーベルが印刷されている面に紙テープなどを貼らないでください。
CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどのノリがはみ出したり、はがした痕があるものはお使いにならないでください。そのままCDプレーヤーにかけるとCD が取り出せなくなったり、故障することがあります。

CDの保存

直射日光があたる場所（シートやダッシュボードの上）など、温度が高い場所には置かないでください。特にCD-R、CD-RWは通常の音楽CDに比べ、高温、多湿の環境に弱く、ディスクによっては車内に長時間放置すると使用できなくなる場合があります。

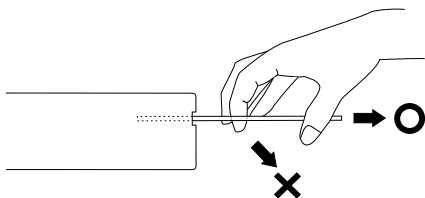
長期間演奏しないときは、本機からCDを取り出して、ケースに入れて保管してください。
キズ、汚れ、反りの原因になりますので、ケースに入れずに重ねて置いたり、斜めに立てかけて保存しないでください。

新しいCDを使うときは

新しいCDを使うときは、CDのセンターホールや外周部に"バリ"がないことを確認してください。"バリ"がついたまま使用すると、CDが挿入できなかったり音飛びの原因になります。"バリ"があるときは、ボールペンなどで取り除いてから使用してください。

CDのお手入れ

CDが汚れたときは、市販のクリーニングクロスや柔らかい木綿の布などで、中心から外側に向かって軽くふき取ってください。
従来のレコードクリーナー、静電防止剤や、シンナーやベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。

CDの入れかた／取り出しかた

本機からCDを入れたり取り出すときは水平方向にまっすぐ出し入れしてください。
下側に強く押しながら出し入れするとCDの記録面に傷を付ける原因となります。

EZ Operation

CD/MP3/WMA/AAC/ACDriveのプレイは簡単！
CD/メディアを差し込むだけです。

プレイする曲を選びます。

受信する放送局を選びます。

受信状態の良い放送局を自動的に受信します。チューニングモードの設定により、周波数を1ステップずつ変えたり、メモリーしている放送局を順に受信するようにもできます。(22ページ)

交通情報の周波数（1620KHz/ 1629KHz/ 522KHz）を切り替えます。

音量をすばやく小さくします。

もう一度押すと元の音量に戻ります。

音量を下げます。

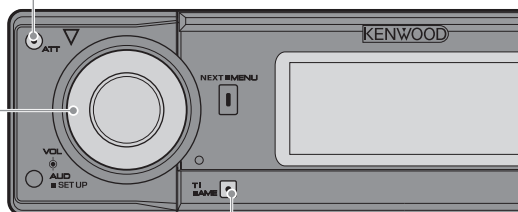
音量を上げます。

矢印の方向に回します。

交通情報を受信します。

押すと、交通情報を受信します。

もう一度押すと元に戻ります。

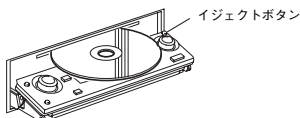
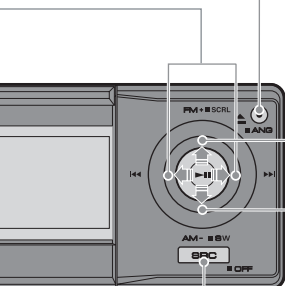
交通情報を受信中に音量を調節すると、次回から交通情報を受信したときは自動的にこの調節した音量になります。

注意

- 安全のため、周囲の音が聞こえる音量でお聴きください。
- 操作パネルを開いたときにシフトレバーなどに干渉する場合は、安全に注意してシフトレバーを動かしてください。

CD/メディアをプレイするには…

⏏◉ を押して操作パネルを開き、プレイするCD/メディアを差し込みます。差し込んだCD/メディアがプレイされます。

CD/メディアを取り出すには…

⏏◉（イジェクトボタン）を押します。

- CD/メディアは、水平方向にまっすぐ挿入してください。
- プレイできるMP3/WMA/AACメディアや、フォーマット、書き込み方法の注意などが「Help? MP3/WMA/AAC」（78ページ）に記載してあります。メディアを作成する前にご覧ください。
- ACDriveディスクについては「Help? ACDrive」（82ページ）をご覧ください。
- 開いている操作パネルに無理な力をかけないでください。
- ディスクが入っているときは、INインジケーターが点灯します。
- MP3/WMA/AACの時は、MP3/WMA/AACインジケーターが点灯します。

FM放送のバンド（FM1/FM2）に切り替えます。

次のMP3/WMA/AACフォルダを選びます。

AM放送のバンド（AM1/AM2）に切り替えます。

前のMP3/WMA/AACフォルダを選びます。

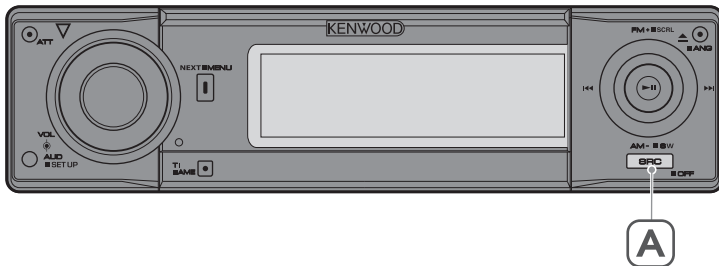
電源をオン/オフします。

押すと電源がオンになります。
１秒以上押すと、電源がオフになります。

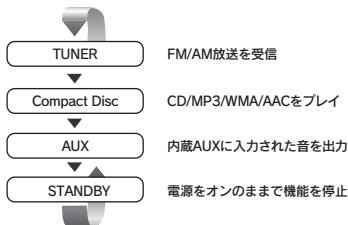
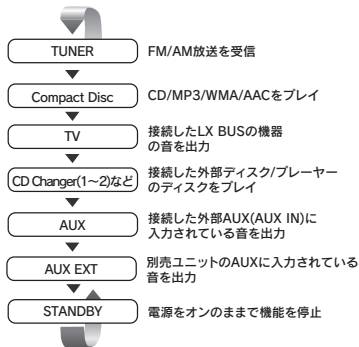
CD/MP3/WMA/AACのプレイとFM/AM放送を切り替えます。

ディスクが入っているときに押すと、FM/AM放送、CD/MP3/WMA/AAC、STANDBYに切り替わります。

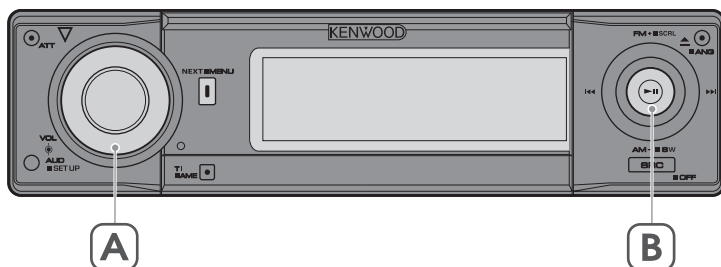
Functional Operation
ソースセレクション
CD/MP3/WMA/AAC/ACDrive/Changer/KSFモード
TUNER モード
Name Set
ディスプレイコントロール
オーディオコントロール
サウンドマネジメントシステム
サウンドフィールドコントロール
イコライザーコントロール
Menu
EZ Operation
オプション
リモートコントロール
Help

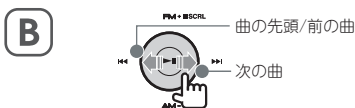
ソースセレクション

ソース選択

プレイするソースを切り替えます。

押すたびに次の順で切り替わります。

別売品のユニットが接続されているときには、次の順で切り替わります。

- AUXソースには、「メニュー設定」(60ページ) の "Built in AUX" 項目が "ON" に設定されているときに切り替わります。
- AUX/AUX EXTソースの表示は、初期状態では "AUX" / "AUX EXT" と表示されますが、「AUXネームセレクト」(27ページ) で変更ができます。但し、CA-C1AXに接続しているAUXソースには、AUXネームセレクトはできません。
- MP3/WMA/AAC/ACDriveのメディアが挿入されているときは、Compact Discモードを選択することにより、MP3/WMA/AACファイルのプレイができます。
- 外部ディスクプレーヤーを選択時の表示例
  "CD Changer (1～2)" :ディスクチェンジャー
  "HDD EXT" :HDX-710 (別売品) などの音楽ファイル (KSF) ソース
  "AUX EXT" :KCA-S210A (別売品) など

プレイするソースを選びます。

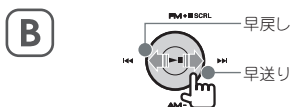
CD/MP3/WMA/AAC/ACDrive/Changer/KSFモード

トラック／ファイルサーチ

プレイする曲を選びます。

ディスク／フォルダサーチ

(MP3/WMA/AACメディア、ディスクチェンジャー、KSFのみ)

プレイするディスクやフォルダを選びます。

マニュアルサーチ

現在プレイ中の曲を早送り、早戻しします。

ボタンを押している間だけ、早送り／早戻しされます。

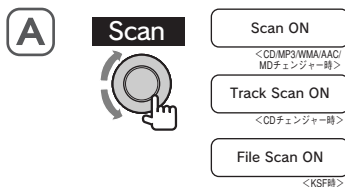
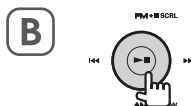
- MP3/WMA/AACファイルをプレイ時は、マニュアルサーチ中に音は出ません。
- AACの一部のファイルでは、マニュアルサーチできません。
- KSFをプレイ時は、マニュアルサーチできません。

スキャンプレイ

ディスクやフォルダ内の各曲の先頭部分を10秒間ずつプレイして曲を探します。

Before CHECK

<ソースキーモード>表示の状態で操作します。
<ソースキーモード>になっていない場合は、 を押します。

1 スキャンプレイを開始します

2 聴きたい曲のところで…

スキャンプレイがオフし、その曲からプレイされます。

すべての曲がスキャンプレイされると、スキャンプレイは自動的に終了します。

CD/MP3/WMA/AACや別売品のディスクチェンジャー、HDX-700/HDX-710などの音楽ファイル（KSF）ソースでいろいろな機能を使ってプレイします。

基本的なCDの聴きかたはEZ Operation（12ページ）をご覧ください。

Before CHECK は、マルチキーシステムを使用している機能です。
はじめに「Help? Multi Key system」（80ページ）をご覧ください。

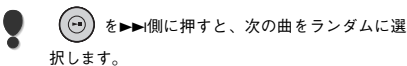
ランダムプレイ

現在のディスクやフォルダ内の曲をランダムな順でプレイします。

Before CHECK

<ソースキーモード>表示の状態で操作します。
<ソースキーモード>になっていない場合は、 を押します。

押すたびに、ランダムプレイがオン/オフされます。

を▶▶|側に押すと、次の曲をランダムに選択します。

ディスクランダムプレイ

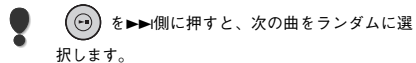
全フォルダ内の曲をランダムな順でプレイします。（MP3/WMA/AACメディア）

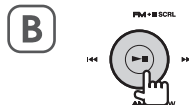
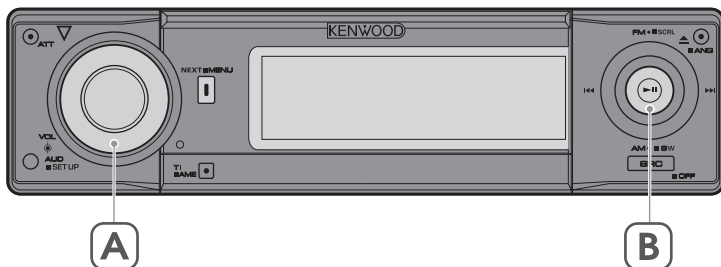
Before CHECK

<ソースキーモード>表示の状態で操作します。
<ソースキーモード>になっていない場合は、 を押します。

Disc Random ON

“Disc Random ON”と表示されるまで押し続けます。もう一度押すとディスクランダムプレイがオフされます。

を▶▶|側に押すと、次の曲をランダムに選択します。

ポーズ

現在プレイ中の曲を一時停止します。

もう一度押すとプレイを再開します。

マガジンランダムプレイ
(ディスクチェンジャーのみ)

ディスクチェンジャーにセットされているディスクの中からランダムな順でプレイします。

Before CHECK

<ソースキーモード>表示の状態で操作します。
<ソースキーモード>になっていない場合は、 を押します。

M.RDM

Magazine Random ON

押すたびに、マガジンランダムプレイがオン/オフされます。

を▶▶|側に押すと、次の曲をランダムに選択します。

フォルダセレクト
(MP3/WMA/AACメディアのみ)

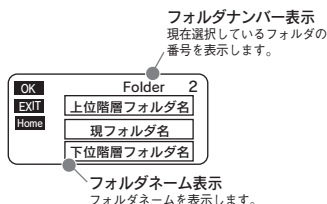
聴きたいMP3/WMA/AACの曲が入っているフォルダをすばやく選択します。

Before CHECK

<ソースキーモード>表示の状態で操作します。
<ソースキーモード>になっていない場合は、 を押します。

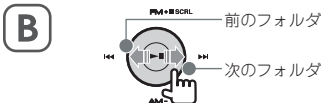
1 フォルダセレクトモードにします

F.SEL

ディスプレイに以下の表示がされます。

「ディスクランダムプレイ」（17ページ）中はフォルダセレクトを選択できません。

Before CHECK は、マルチキーシステムを使用している機能です。
はじめに「Help? Multi Key system」(80ページ)をご覧ください。

2 フォルダを選びます

同階層内にあるフォルダ間を移動します

押すたびに、同階層内で次のフォルダ/前のフォルダへと移動します。

フォルダの階層を選択します

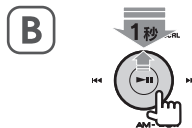
押すたびに、1階層上/1階層下へと移動します。

第1階層へ戻ります(Root Jump)

Home

現在聴いているメディアの最上階層のフォルダに戻ります。

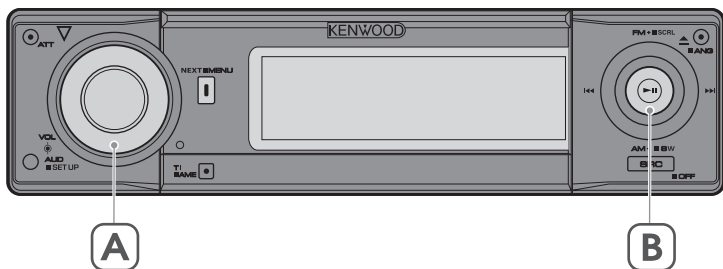
- フォルダセレクト時のフォルダの移動のしかたは、フォルダサーチとは異なります。くわしくは「Help? MP3/WMA/AAC」(78ページ)を参照してください。
- ACDriveディスク時は「プレイモード」(21ページ)毎にフォルダが選択できます。但し"Folder Mode"以外では、フォルダの上下階層の移動および上下階層のフォルダ名表示はできません。

フォルダネームをスクロールするときは…

3 聴きたい曲が入っているフォルダで…

フォルダセレクトモードが終了し、そのフォルダ内の最初のMP3/WMA/AACファイルがプレイされます。

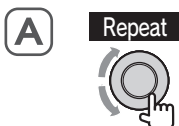
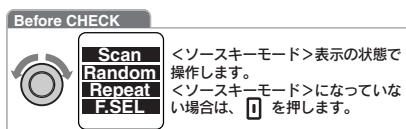
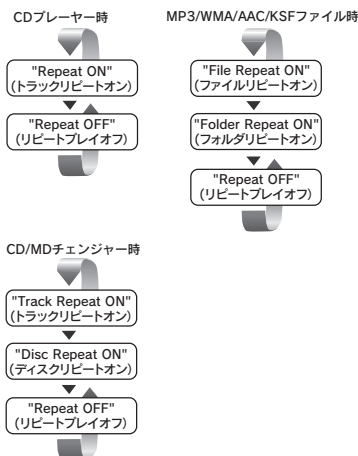
フォルダセレクトモードを終了して、選択したフォルダにMP3/WMA/AACファイルがないときは、プレイ順で一番近いファイルがプレイされます。

フォルダセレクトを中止するときは…

EXIT

リピートプレイ

現在聴いている曲またはディスク、フォルダを繰り返しプレイします。

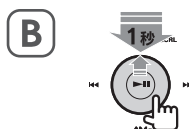
Before CHECK

<ソースキーモード>表示の状態で操作します。
<ソースキーモード>になっていない場合は、[I] を押します。

押すたびに次のようにオン/オフします。

テキストスクロール

ディスプレイに表示されるテキストを、スクロール設定が“Manual”のときにテキストをスクロールさせせます。

1 テキスト表示にします

「ディスプレイタイプ選択」(28ページ)および「Display Type B表示選択」(32ページ)または「Display Type C/D表示選択」(34ページ)を参照して、テキスト表示にします。

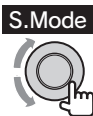
2 スクロール表示します

表示中のテキストが1回スクロールします。

スクロール設定を“Auto”にしているときに上記の操作を行うと、テキストが最初の文字からスクロールを開始します。スクロール設定の方法は、「メニュー設定」(60ページ)の“Scroll”を参照してください。

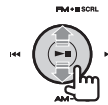
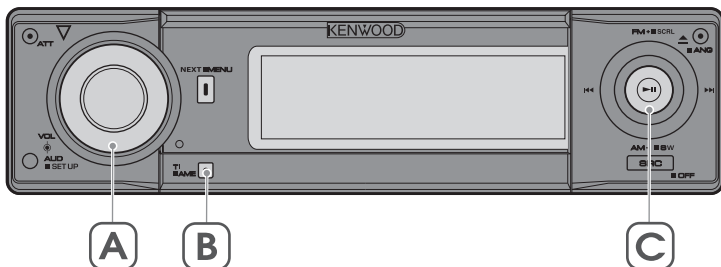
Before CHECK は、マルチキーシステムを使用している機能です。
はじめに「Help? Multi Key system」（80ページ）をご覧ください。

プレイモード

ACDriveディスク再生時、カテゴリー別に再生する曲を選べます。

<ソースキーモード>表示の状態で操作します。
<ソースキーモード>になっていない場合は、 を押します。

押すたびに次の順で切り替わります。

- 曲のカテゴリー情報はMedia ManagerでACDriveディスク作成時、ディスクに書きこまれます。
- 音声ガイドの設定は「メニュー設定」(60ページ）の“Voice Index”を参照してください。
- カテゴリーがGenre/Artist/Album/Folder/Play Listの時は、各インジケータが点灯します。

カテゴリー内の項目を替えるには…

TUNER モード

バンド切り替え

FM1とFM2に切り替えます。

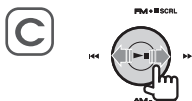
AM1とAM2に切り替えます。

チューニング

受信する放送局を選びます。

1 バンドを選びます

前記の「バンド切り替え」を参照してバンドを選びます。

2 放送局を選びます

チューニングモードが“Auto1”のとき
受信状態の良い放送局を自動的に選びます。

チューニングモードが“Auto2”のとき
メモリーされている放送局を番号順に受信します。（メモリーの方法は後記を参照してください）

チューニングモードが“Manual”のとき
押すたびに、周波数が1ステップずつ変わります。

- チューニングモードは「メニュー設定」(60ページ）の“Seek Mode”項目で選択できます。
- FMステレオ放送を受信し“Display Type C/D”(34ページ）の4行表示のとき“Indicator”が選択されていると、STインジケーターが点灯します。
- FMステレオ放送を受信し“Display Type C”(34ページ）がソース/2行表示のときSTインジケーターが点灯します。

オートメモリー

受信状態の良い放送局を自動的に選んでメモリーします。

1 バンドを選びます

前記の「バンド切り替え」を参照してバンドを選びます。

2 オートメモリーします

FM1-Ach 82.5

周波数表示が次々に変わるまで押し続けます。

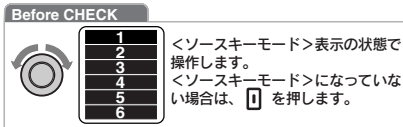
6局メモリーするか、周波数を1周すると自動的にオートメモリーは終了します。

FM/AM放送を受信します。
また、各バンドごとに6局までの放送局をメモリーしておくこともできます。

基本的なFM/AM放送の聴きかたはEZ Operation（12ページ）をご覧ください。

Before CHECK は、マルチキーシステムを使用している機能です。
はじめに「Help? Multi Key system」（80ページ）をご覧ください。

マニュアルメモリー

受信中の放送局をメモリーします。

Before CHECK

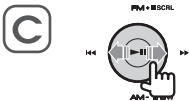
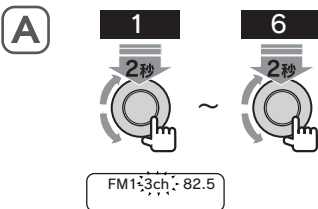
<ソースキーモード>表示の状態で操作します。
<ソースキーモード>になっていない場合は、 を押します。

1 バンドを選びます

前記の「バンド切り替え」を参照してバンドを選びます。

2 放送局を選びます

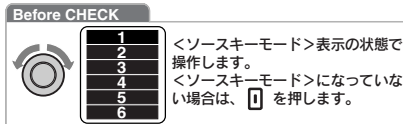
3 プリセットナンバー（1～6のいずれか）を選びます

～
FM1-3ch 82.5

プリセットナンバーが1回点滅表示するまで押し続けます。

プリセットチューニング

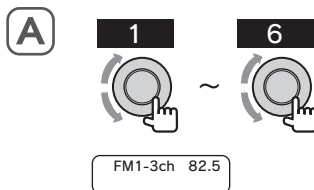
メモリーボタン（1～6）にメモリーされている放送局を受信します。

Before CHECK

<ソースキーモード>表示の状態で操作します。
<ソースキーモード>になっていない場合は、 を押します。

1 バンドを選びます

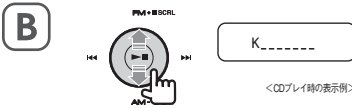
前記の「バンド切り替え」を参照してバンドを選びます。

2 プリセットナンバー（1～6のいずれか）を選びます

～
FM1-3ch 82.5

選択したプリセットナンバーがメモリーナンバーに表示され、メモリーされているチャンネルが呼び出されます。

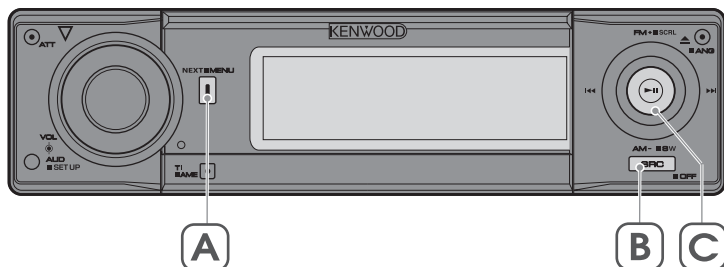
FM/AM放送局や本機内蔵のCDプレーヤーと別売品のCDチェンジャー/CDプレーヤーにセットされているCDに名前を付けて表示させることができます。
また、AUXモードのときに表示される名前を設定できます。

7 文字を選びます

<CDプレイ時の表示例>

8 5～7を繰り返して、すべての文字を入力します

9 DNPS/SNPSを終了します

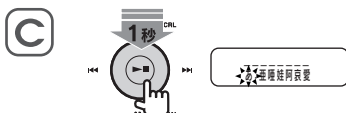
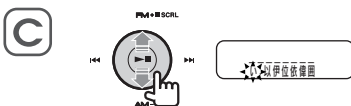
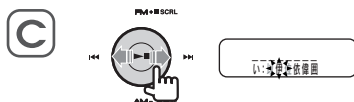
- 10秒間以上、何も操作しないとその時点での名前が確定されます。
- 名前は8文字まで登録できます。
- CDはトラック数（曲数）と総録音時間で識別されます。このため、これらが同じCDの場合には識別できません。
- バッテリーから外すとDNPS/SNPSは消去されます。
- 登録した名前を変更するには、変更したいCDや放送局の名前を表示させたあと、同様の操作で変更できます。
- DNPSは本機内蔵のCDプレーヤーと別売品のCDチェンジャーを合わせて50枚まで登録できます。
- SNPSで登録できる局数は、FM放送局/AM放送局あわせて30局です。

Name Set

漢字の入力

ディスクネーム/ステーションネームに漢字を入力して表示させることができます。

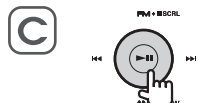
1 DNPS/SNPSを開始します

「DNPS（ディスクネームプリセット）/SNPS（ステーションネームプリセット）」(24ページ）の手順１～5を行います。

2 漢字入力モードにします

3 漢字の読みを選びます

4 入力する漢字を選びます

カーソルが読みの位置から漢字の位置に移動します。

漢字列を変えるには…

カーソルが漢字の位置にあるときに押すと、漢字列が変わります。

5 漢字を入力します

カーソルがある位置の漢字が入力され、漢字入力モードが終了します。
さらに漢字を入力する場合は、手順２～5を繰り返します。

漢字入力を中止するときは…

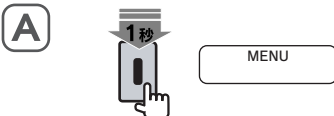
AUXネームセレクト

AUXモードに切り替えたときの表示を設定します。

1 AUXモードにします

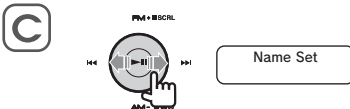
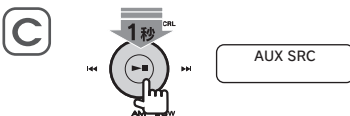
AUX

AUX EXT

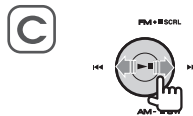
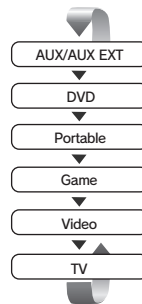
2 メニューモードにします

MENU

“MENU”と表示されるまで押し続けます。

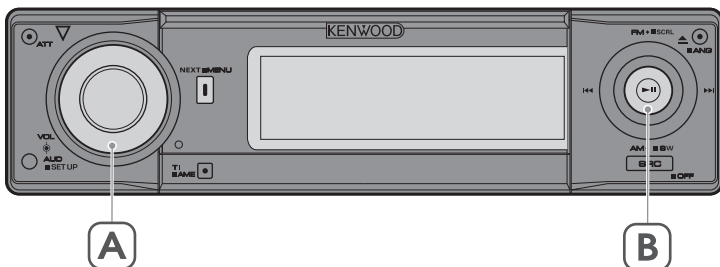
3 ネームセット項目を選びます

Name Set

4 ネームセットモードに入ります

AUX SRC

“AUX SRC”と表示されるまで押し続けます。

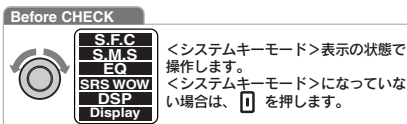
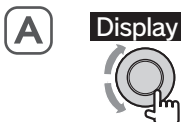
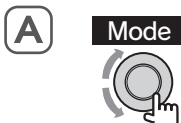
5 AUXネームを選びます

押すたびに次の順で切り替わります。

6 ネームセットモードを終了します

- 10秒間以上、何も操作しないとその時点での名前が選択されます。
- バッテリーから本機を外すと、AUXネームは“AUX”/“AUX EXT”に戻ります。
- CA-C1AXを使用したAUXソースには、AUXネームセレクトの設定はできません。

ディスプレイコントロール

ディスプレイタイプ選択

ディスプレイの表示タイプを切り替えます。

Before CHECK

<システムキーモード>表示の状態で操作します。
<システムキーモード>になっていない場合は、 を押します。

1 ディスプレイコントロールモードにします

2 ディスプレイモードにします

3 ディスプレイタイプを選びます

押すたびに次の順で切り替わります。

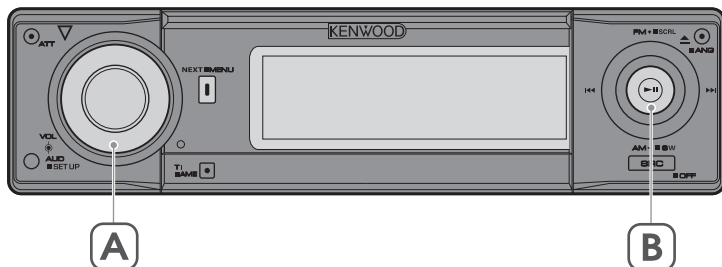
4 ディスプレイコントロールモードを終了します

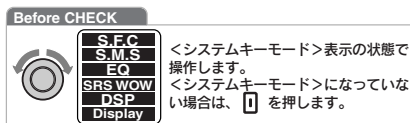
- "Display Type A"、Display Type B"選択時のグラフィック/スペアナ表示の選択方法は「グラフィック/スペアナ表示切り替え」（30ページ）をご覧ください。
- "Display Type A"、Display Type B"選択時の壁紙の選択方法は「壁紙の選択」（31ページ）をご覧ください。

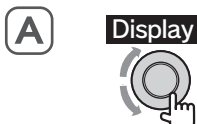
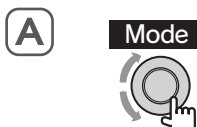
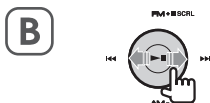
ディスプレイの表示タイプや表示する情報の設定をします。

Before CHECK は、マルチキーシステムを使用している機能です。
はじめに「Help? Multi Key system」（80ページ）をご覧ください。

- “Display Type B”選択時の文字情報表示の切り替え方は「Display Type B表示選択」（32ページ）をご覧ください。
- “Display Type C”、“Display Type D”選択時の文字情報表示の切り替え方は「Display Type C/D表示選択」（34ページ）をご覧ください。
- “Display Type D”選択時のアイコンの切り替え方は「アイコンの選択」（40ページ）をご覧ください。
- “Display Type B”、“Display Type C”、“Display Type D”選択時の文字表示色の切り替え方は「文字表示色変更」（41ページ）をご覧ください。
- ACDriveディスクのアルバムアートは“Display Type D”のアイコン部に表示されます。
- LXアンプ接続時は“Display Type B、C/D”の文字情報表示部に、LXアンプのディスプレイモードのアイテムを表示できます。（“Display Type C/D”の1行表示は除く）

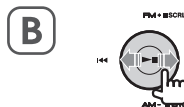
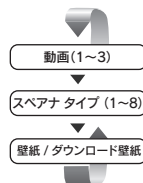
ディスプレイコントロール

グラフィック/スペアナ表示切り替え

ディスプレイタイプがDisplay Type A、Display Type Bのときに表示するグラフィック/スペクトラムアナライザー表示を選択します。

<システムキーモード>表示の状態で操作します。
<システムキーモード>になっていない場合は、[I] を押します。

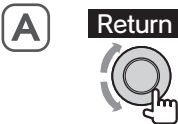
1 ディスプレイコントロールモードにします

2 ディスプレイモードにします

3 ディスプレイタイプを選びます

「ディスプレイタイプ選択」（28ページ）で“Display Type A”または“Display Type B”を選択します。

4 グラフィック/スペアナ表示切り替えを選びます

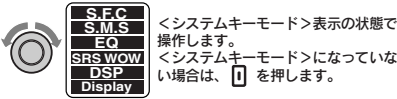
5 グラフィック/スペアナを切り替えます

押すたびに次の順で切り替わります。

- “ダウンロード壁紙”は画像が収録されている場合に表示されます。収録の方法は「画像のダウンロード」（66ページ）を参照してください。
- “壁紙”の選択の方法は「壁紙の選択」（31ページ）を参照してください。

Before CHECK は、マルチキーシステムを使用している機能です。
はじめに「Help? Multi Key system」（80ページ）をご覧ください。

6 グラフィック/スペアナ表示切り替えを終了します

壁紙の選択

Display Type A、Display Type Bの壁紙を選択します。

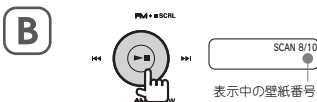
Before CHECK

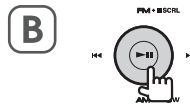
<システムキーモード>表示の状態で操作します。
<システムキーモード>になっていない場合は、 を押します。

1 壁紙を表示します

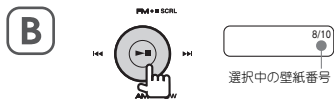
「グラフィック/スペアナ表示切り替え」（30ページ）の手順１～5を参照して“壁紙”を表示します。

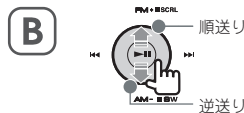
2 壁紙を切り替えます

壁紙を次々に表示して選択する

１. 壁紙スキャンをオンにします

押すたびに壁紙スキャンがオン／オフします。壁紙スキャンがオンのときは“SCAN”と表示されます。壁紙が次々に切り替わります。

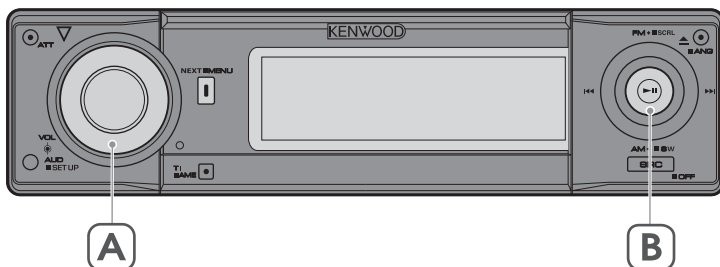
２. 表示したい壁紙のところで…

壁紙を手動で選択する

１. 壁紙スキャンをオフにします

押すたびに壁紙スキャンがオン／オフします。壁紙スキャンがオフのときは“SCAN”表示が消えます。

２. 壁紙を選択します

押すたびに壁紙が切り替わります。

- 本機には11種類の壁紙があらかじめ収録されています。
- 「画像のダウンロード」（66ページ）でダウンロードした壁紙は、あらかじめ登録されている11種類の壁紙の次に登録されます。

3 壁紙の選択を終了します

ディスプレイコントロール

Display Type B表示選択

ディスプレイタイプがDisplay Type Bのとき文字情報を切り替えます。

Before CHECK

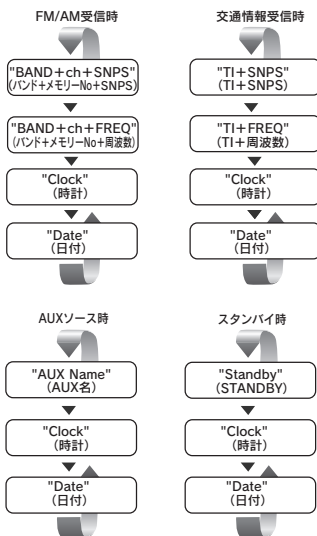
<システムキーモード>表示の状態で操作します。
<システムキーモード>になっていない場合は、 を押します。

1 ディスプレイコントロールモードにします

2 ディスプレイモードにします

3 ディスプレイタイプを選びます

「ディスプレイタイプ選択」(28ページ)で“Display Type B”を選択します。

4 文字表示切り替えを選びます

5 文字情報を選びます

押すたびに次の順で切り替わります。

FM/AM受信時

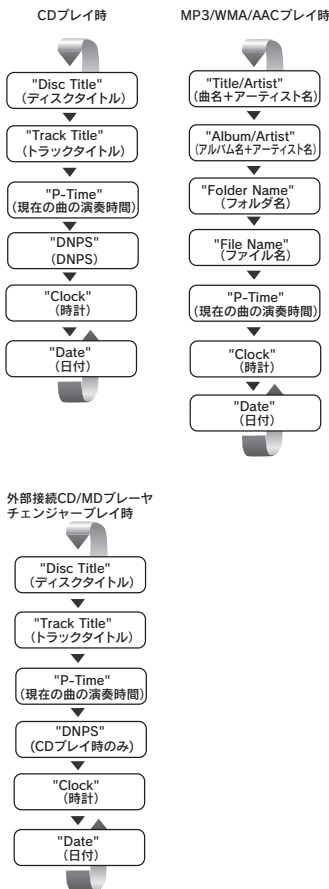
交通情報受信時

AUXソース時

スタンバイ時

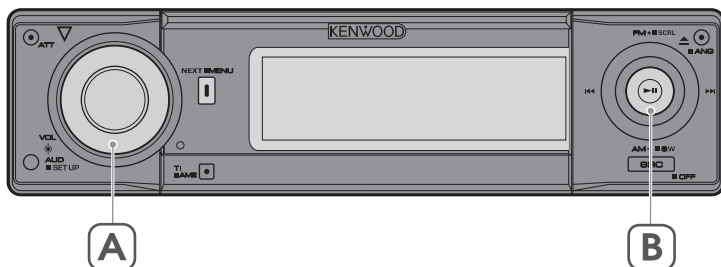
Before CHECK は、マルチキーシステムを使用している機能です。
はじめに「Help? Multi Key system」（80ページ）をご覧ください。

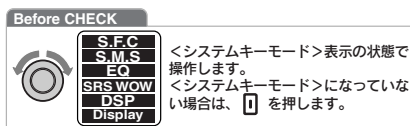
外部接続CD/MDプレーヤ
チェンジャープレイ時

"Disc Title"（ディスクタイトル）
"Track Title"（トラックタイトル）
"P-Time"（現在の曲の演奏時間）
"DNPS"（CDプレイ時のみ）
"Clock"（時計）
"Date"（日付）

ディスク/トラックタイトル、曲名、アルバム名が記録されていないディスクを再生中に上記の表示に切り替えると、演奏時間が表示されます。

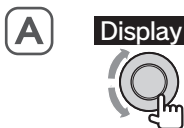
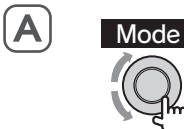
6 文字表示切り替えを終了します

- DNPS：ディスクネームプリセット（24ページ）
  SNPS：ステーションネームプリセット（24ページ）
  を参照してください。なお、CDプレイ時のディスクタイトルはディスクテキスト、トラックタイトルはトラックテキストが表示されます。
- SNPSが登録されていないと、周波数が表示されます。

ディスプレイコントロール

Display Type C/D表示選択

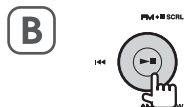
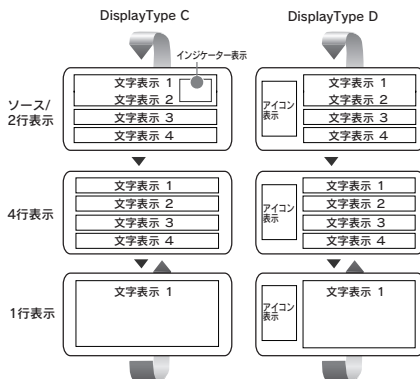
ディスプレイタイプがDisplay Type Cまたは Display Type Dのとき文字情報を切り替えます。表示タイプを3種類切り替えられます。

Before CHECK

<システムキーモード>表示の状態で操作します。
<システムキーモード>になっていない場合は、 を押します。

1 ディスプレイコントロールモードにします

2 ディスプレイモードにします

3 ディスプレイタイプを選びます

「ディスプレイタイプ選択」（28ページ）で“Display Type C”または“Display Type D”を選択します。

4 文字表示切り替えを選びます

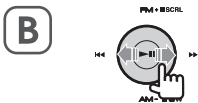
5 表示タイプを切り替えるには

押すたびに次の順で切り替わります。

TUNER/AUX/STANDBY時は1行表示を選択できません。

Before CHECK は、マルチキーシステムを使用している機能です。
はじめに「Help? Multi Key system」（80ページ）をご覧ください。

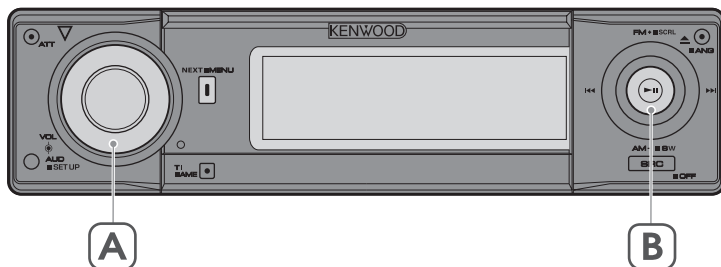
6 文字情報を選びます

上下段を切り替えるには…

押すたびに選択したディスプレイの横のカーソルが移動します。

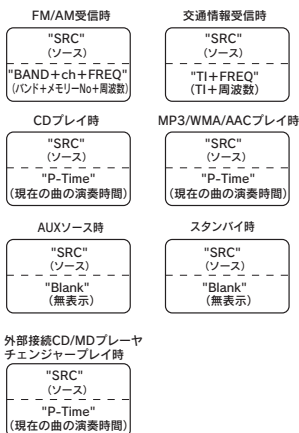
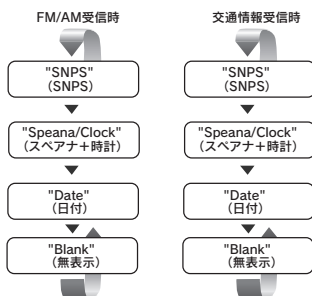
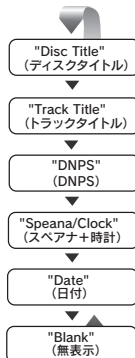
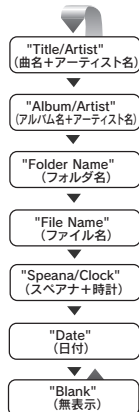
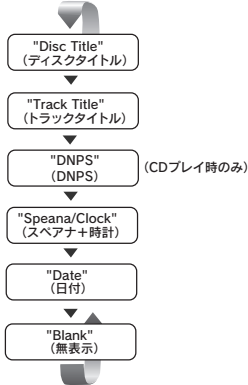
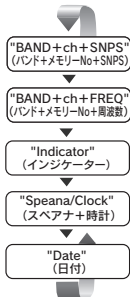
文字情報を切り替えるには…

押すたびに図の順（36〜39ページ）で切り替わります。

- 各段それぞれの表示項目が選択できます。ただしソース表示/2行表示の文字表示１、２は変更できません。
- 各段同じ情報を表示することはできません。
- DNPS：ディスクネームプリセット（24ページ）
  SNPS：ステーションネームプリセット（24ページ）
  を参照してください。なお、CDプレイ時のディスクタイトルはディスクテキスト、トラックタイトルはトラックテキストが表示されます。
- SNPSが登録されていないと、周波数が表示されます。ソース/2行表示で文字表示３/４にSNPSを設定したとき、または４行表示で文字表示２/３/４にSNPSを設定したときはNo Nameと表示されます。
- テキスト表示を選択しテキスト情報（ディスクタイトル、トラックタイトル等）が無いときは文字表示２/３/４には、何も表示されません。

7 文字表示切り替えを終了します

Return

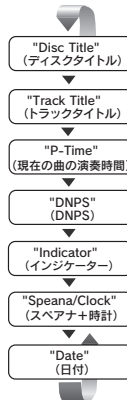
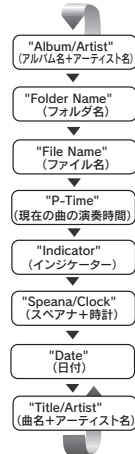
ディスプレイコントロール

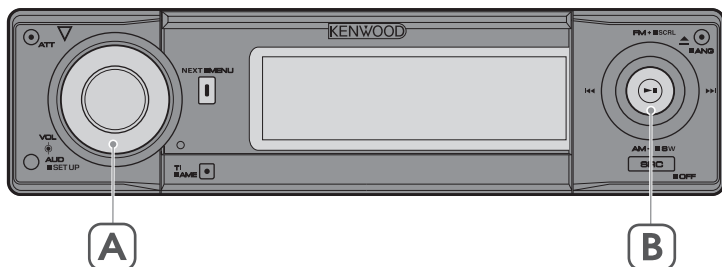
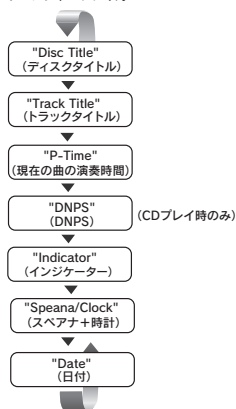
ソース/2行表示（文字表示1/2）

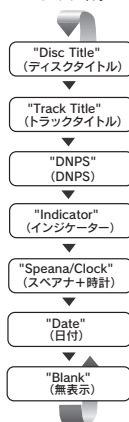
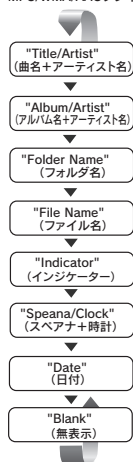
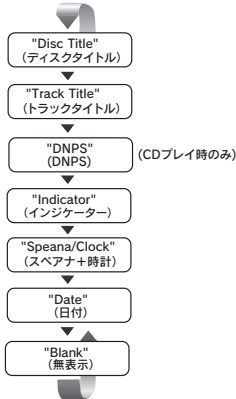
固定表示

FM/AM受信時	交通情報受信時
"SRC"（ソース）	"SRC"（ソース）
"BAND＋ch＋FREQ"（バンド+メモリーNo+周波数）	"TI＋FREQ"（TI＋周波数）

CDプレイ時	MP3/WMA/AACプレイ時
"SRC"（ソース）	"SRC"（ソース）
"P-Time"（現在の曲の演奏時間）	"P-Time"（現在の曲の演奏時間）

AUXソース時	スタンバイ時
"SRC"（ソース）	"SRC"（ソース）
"Blank"（無表示）	"Blank"（無表示）

外部接続CD/MDプレーヤチェンジャープレイ時
"SRC"（ソース）
"P-Time"（現在の曲の演奏時間）

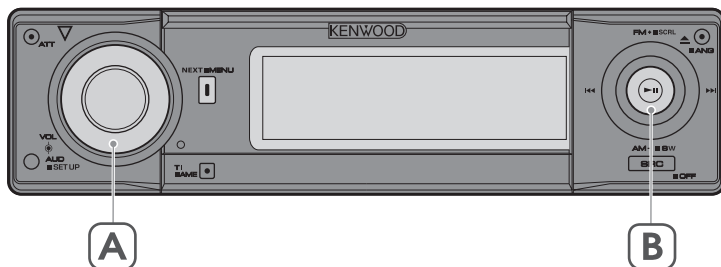
ソース/2行表示（文字表示3/4 切り替え）

4行表示（文字表示１ 切り替え）

ディスプレイコントロール

4行表示（文字表示１ 切り替え）

4行表示（文字表示2/3/4 切り替え）

文字表示１で“BAND+ch+SNPS”が選ばれていると“SNPS”は選択できません。

1行表示（文字表示１ 切り替え）

- 表示文字が１行で表示できない場合、おさまらない文字を２～４行目に表示します。４行を越える文字表示は「テキストスクロール」（20ページ）の操作で表示させることができます。
- 外部接続するプレーヤーによっては１行表示の選択はできません。

ディスプレイコントロール

Functional Operation

ディスプレイコントロール

アイコンの選択

Display Type Dのとき表示するアイコンを変更できます。

Before CHECK

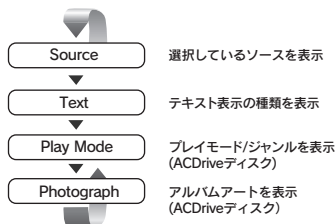
<システムキーモード>表示の状態で操作します。
<システムキーモード>になっていない場合は、 を押します。

1 ディスプレイコントロールモードにします

2 アイコン切り替えモードにします

3 アイコンを変更します

押すたびに次の順で切り替わります。

Source	選択しているソースを表示
Text	テキスト表示の種類を表示
Play Mode	プレイモード/ジャンルを表示(ACDriveディスク)
Photograph	アルバムアートを表示(ACDriveディスク)

- プレイモード、アルバムアートはACDriveディスクのとき選択できます。
- アルバムアートを選択しACDriveディスクにアルバムアートがないときは、ソースアイコンを表示します。
- アルバムアートのダウンロードは最大で30秒程度の時間がかかります。
- アルバムアートダウンロード中は“Down-loading”と表示されます。
- プレイリストのアルバムアートは表示できません。

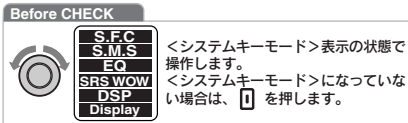
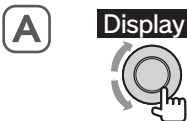
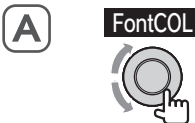
4 アイコン切り替えモードを終了します

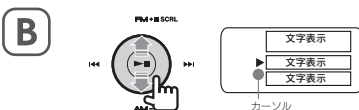
Before CHECK は、マルチキーシステムを使用している機能です。
はじめに「Help? Multi Key system」（80ページ）をご覧ください。

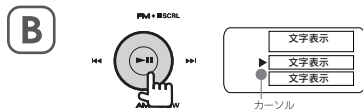
文字表示色変更

ディスプレイタイプがDisplay Type B、Display Type CまたはDisplay Type Dのとき各文字表示段の色を各々設定できます。

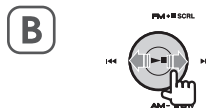
Before CHECK

<システムキーモード>表示の状態で操作します。
<システムキーモード>になっていない場合は、 を押します。

1 ディスプレイコントロールモードにします

2 文字表示色切り替えモードにします

3 変更位置/調整モードを選択します

変更位置を選択する

押すたびに選択したディスプレイの横のカーソルが移動します。

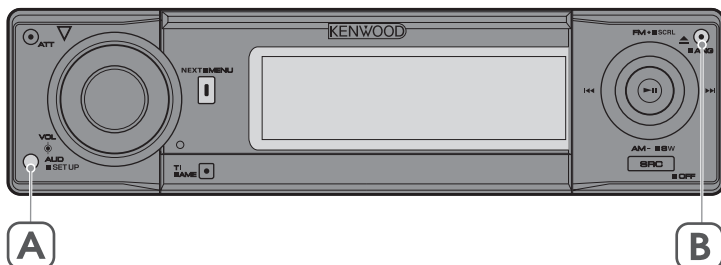
調整モードを選択する

押すたびに、Easyモード（12種類）、Customモード（115種類）に切り替わります。
ディスプレイ横のカーソルの色がEasyモードの時は青、Customモードの時は赤に変わります。

“Display Type B”選択時は変更位置の切り替えは、できません。

4 文字の色を変更します

押すたびに、文字表示色が切り替わります。

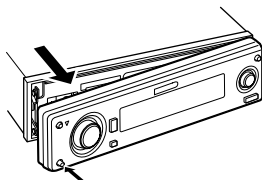
- “Display Type C/D”の4行表示選択時、“Indicater”の色変更はできません。
- “Display Type B”選択時は文字の色を見やすい色に設定してください。

5 文字表示色切り替えモードを終了します

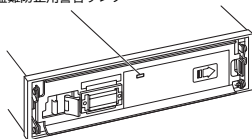
ディスプレイコントロール

パネル取り外し

操作パネルを取り外します。

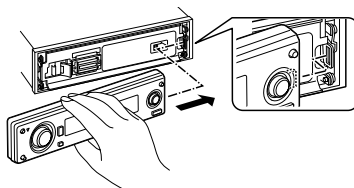
1 操作パネルのロックを外します

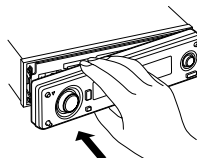
2 操作パネルを取り外します

パネルのロックが外れたらパネルの左側を引きます。

- 電源がオンのときにパネルを取り外すと、電源がオフになります。
- 「メニュー設定」(60ページ)の“DSI”項目が“ON”になっていると、盗難防止用警告ランプが点滅します。

盗難防止用警告ランプ

パネル取り付け

操作パネルを取り付けします。

1 操作パネルを取り付けます

本体の右側シャフト部にパネルを合わせて押します。

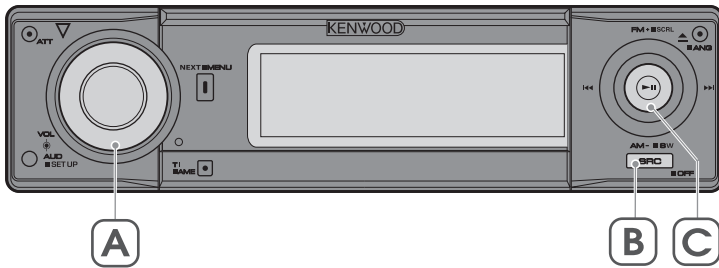
2 操作パネルを本体にロックさせます

操作パネル角度調節

操作パネルの角度を調整します。

1秒以上押すたびに、操作パネルが1ステップずつ3段階にスライドします。

フロントパネルを取り外すと、盗難防止警告ランプが点滅し盗難防止の手助けとなります。

Before CHECK は、マルチキーシステムを使用している機能です。
はじめに「Help? Multi Key system」（80ページ）をご覧ください。

オーディオコントロール

オーディオコントロール

音量バランスなどを調整します。

1 設定したいソースにします

2 設定する項目を選びます

SW LEVEL

押すたびに設定項目が切り替わります。

3 設定値を選びます

回すたびに設定値が切り替わります。

設定できる項目と値は次のとおりです。

項目	表示	設定値
Rear Volume（後ろの音量レベル）	REAR VOLUME	0～35
Sub woofer level（サブウーファー出力レベル）	SW LEVEL	－15～＋15
Balance（左右の音量レベル）	BALANCE	L［左］15～R［右］15
Fader（前後の音量レベル差）	FADER	R［後］15～F［前］15
オーディオコントロールの解除		

- “REAR VOLUME”は「オーディオセットアップ」（45ページ）の“2ZONE”が“ON”のときに設定できます。
- “SW LEVEL”は「サブウーファー出力設定」(45ページ)が“ON”、サウンドマネージメントシステムの「Sub-W設定」（46ページ)が“None”以外、「オーディオセットアップ」（45ページ）の“2ZONE”が“OFF”のときに設定できます。
- “FADER”は「オーディオセットアップ」（45ページ）の“2ZONE”が“OFF”のときに設定できます。

4 オーディオコントロールを終了します

オーディオコントロールが解除するまで切り替えます。

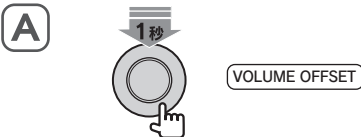
オーディオコントロールは、オーディオコントロール調整中にVOL、ATT、イジェクトボタン以外を押しても解除できます。

音量バランスの調整などをします。

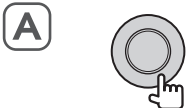
オーディオセットアップ

ボリュームオフセットの調整とデュアルゾーンを切り替えます。

1 設定したいソースにします

2 オーディオセットアップモードにします

VOLUME OFFSET

“VOLUME OFFSET”表示になるまで押し続けます。

3 設定する項目を選びます

押すたびに設定項目が切り替わります。

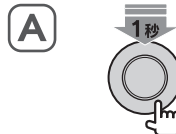
4 設定値を選びます

回すたびに設定値が切り替わります。

設定できる項目と値は次のとおりです。

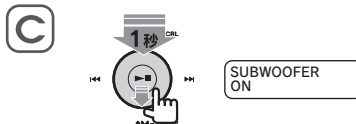
項目	表示	設定値
Volume offset（ソース間のレベル差）	VOLUME OFFSET	−8〜0
NAV Volume（ナビ音声ガイド時の音量調整）	NAV VOLUME	0〜29
Dual Zone（デュアルゾーンの切り替え）	2ZONE	ON/**OFF**

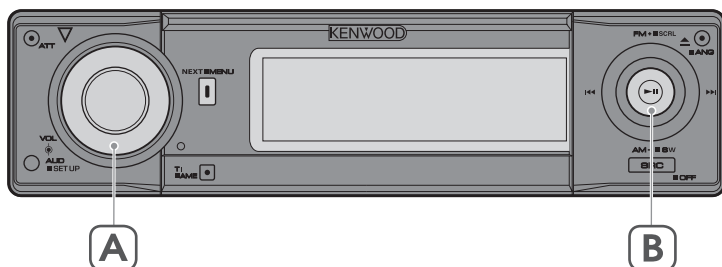
- “VOLUME OFFSET”(ボリュームオフセット）を設定すると、聴く時点での音量に対して、各ソースごとで音量差を設定することができます。
- “NAV VOLUME”(ナビボリューム）は「メニュー設定」（60ページ）“NAV Guide”が“INT”のときに設定できます。
- “2ZONE”(ツーゾーン）については「HELP? Word」(93ページ)の「Dual Zoneシステム」をご覧ください。

5 オーディオセットアップを終了します

元のソース表示になるまで押し続けます。

サブウーファー出力設定

サブウーファー出力のオン/オフを切り替えます。

SUBWOOFER
ON

１秒以上押すたびに、サブウーファー出力がオン/オフします。

サウンドマネジメントシステム

サウンドマネジメントモード

キャビン（車種）やスピーカーの大きさを登録します。

Before CHECK

<システムキーモード>表示の状態で操作します。
<システムキーモード>になっていない場合は、［I］を押します。

1 サウンドマネージメントモードにします

2 設定したい項目を選びます

項目	内容
Cabin	キャビン設定（47ページ）
Front	フロントスピーカー設定（48ページ）
Rear	リアスピーカー設定（48ページ）
Sub-W	サブウーファー設定（48ページ）
Preset	設定値の登録/呼び出し（58ページ）

- 設定したい項目（キャビン、スピーカサイズの選択）の操作をします。設定項目は、各項目の説明をご覧ください。
- 「オーディオセットアップ」（45ページ）の“2ZONE”が“ON”のときはサウンドマネージメントシステムは設定できません。

3 サウンドマネジメントモードを終了します

Return

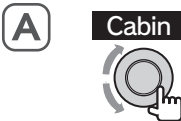
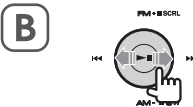
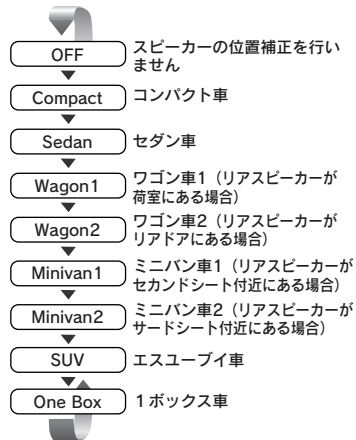
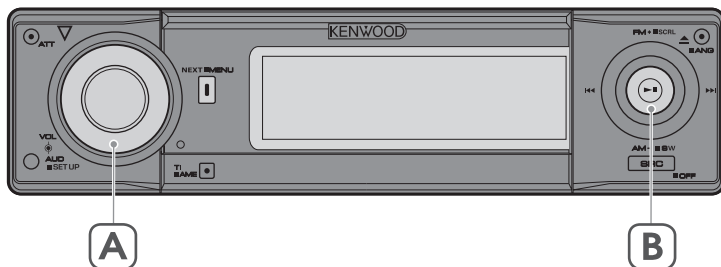
設定を微調整したい、または自分で設定したい場合は「クロスオーバーの調整」（50ページ）や「タイムディレイの調整」（51ページ）で設定することができます。

車の種類に合わせて最適なサウンドを簡単な設定操作で創り出せるシステムが、サウンドマネージメントシステムです。
キャビン（車種）とスピーカーサイズの選択を設定するだけで、「タイムディレイド・コントロール」、「デジタルクロスオーバー」、「デジタルイコライザー」の3つの音場補正機能を自動設定します。
複雑な設定をすることなく、最適な音場空間を創り出します。

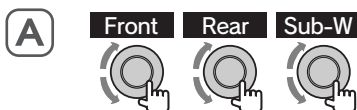
Before CHECK は、マルチキーシステムを使用している機能です。
はじめに「Help? Multi Key system」（80ページ）をご覧ください。

キャビン（車種）の選択

キャビン（車種）を選択することで簡単にタイムディレイを設定して、スピーカー間の距離差を補正できます。

1 キャビン設定モードにします

2 キャビンを設定します

押すたびに次のように切り替わります。

3 キャビン設定モードを終了します

スピーカーサイズの選択

各スピーカーサイズを選ぶことで、簡単にクロスオーバーの設定ができます。

1 スピーカー設定モードにします

設定するスピーカを選びます。

2 スピーカーを設定します

押すたびに次のように切り替わります。

項目	表示	設定値
Front	Front（フロント スピーカー選択）	O.E.M./10cm/13cm/ **16cm**/17cm/18cm/ 4x6/5x7/6x8/ 6x9/7x10
Rear	Rear（リア スピーカー選択）	None/O.E.M./10cm/ 13cm/**16cm**/17cm/ 18cm/4x6/5x7/6x8/ 6x9/ 7x10
Sub-W	SubWoofer（サブ ウーファー選択）	None/16cm/20cm/ **25cm**/30cm/ 38cm Over

（太字は初期設定値）

- “None”は、スピーカーがない場合の設定です。リアスピーカ、サブウーファーの各種設定（ハイパスフィルター等）はできません。
- “O.E.M.”は、車両標準で付いている再生帯域の狭いスピーカー用の設定です。

3 スピーカー設定モードを終了します

サウンドフィールドコントロール

サウンドマネージメントシステムで自動的に設定された音場を、さらにスピーカの取り付け位置、スピーカの性能、視聴位置に合わせて最適化します。
クロスオーバー、タイムディレイ、ポジションを設定します。

Before CHECK は、マルチキーシステムを使用している機能です。
はじめに「Help? Multi Key system」(80ページ)をご覧ください。

サウンドフィールドコントロールモード

クロスオーバー、ディレイタイム、シートポジションを設定します。

Before CHECK

<システムキーモード>表示の状態で操作します。
<システムキーモード>になっていない場合は、 を押します。

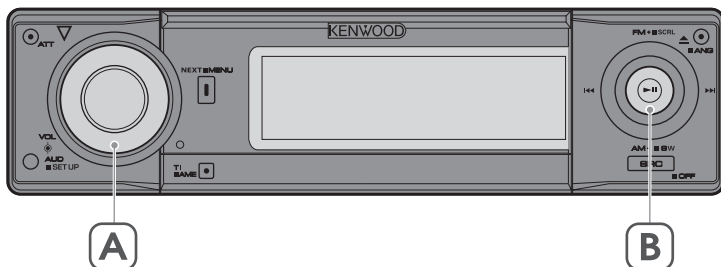
1 サウンドフィールドコントロールモードにします

2 設定したい項目を選びます

項目	内容
X'Over	クロスオーバーの設定(50ページ)
DTA	タイムディレイの設定(51ページ)
POSI	ポジションの設定(52ページ)
Preset	設定値の登録/呼び出し(58ページ)

- 設定したい項目(クロスオーバー、タイムディレイの調整、ポジションの選択)の操作をします。設定項目は、各項目の説明をご覧ください。
- 「オーディオセットアップ」(45ページ)の“2ZONE”が“ON”のときはサウンドフィールドコントロールは設定できません。

3 サウンドフィールドコントロールを終了します

サウンドフィールドコントロール

クロスオーバーの調整

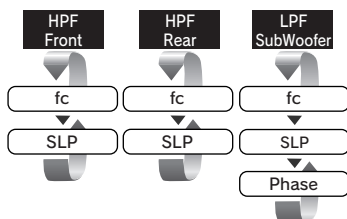
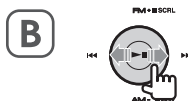
各スピーカのクロスオーバーの調整ができます。

1 クロスオーバーモードにします

2 スピーカを選びます

押すたびにFront/Rear/SubWooferに切り替わります。

3 調整する項目を選びます

押すたびに次のように切り替わります。

4 選んだ項目を調整します

押すたびに次のように切り替わります。

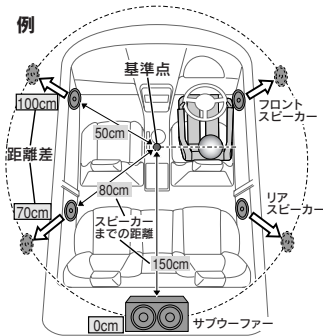
項目	表示	設定値
フロントハイパスフィルター	HPF Front fc（カット周波数選択）	**Through**/30/40/50/60/70/80/90/100/120/150/180/220/250 (Hz)
	HPF Front SLP（スロープ選択）	**-12**/-18/-24 (dB/oct)
リアハイパスフィルター	HPF Rear fc（カット周波数選択）	**Through**/30/40/50/60/70/80/90/100/120/150/180/220/250 (Hz)
	HPF Rear SLP（スロープ選択）	**-12**/-18/-24 (dB/oct)
サブウーファーローパスフィルター	LPF SubWoofer fc（カット周波数選択）	30/40/50/60/70/80/90/100/120/150/180/220/250/**Through** (Hz)
	LPF SubWoofer SLP（スロープ選択）	**-12**/-18/-24 (dB/oct)
	LPF SubWoofer Phase (位相選択)	**Normal**/Reverse

（太字は初期設定値）

- サブウーファーローパスフィルターは「サブウーファー出力設定」(45ページ)が“ON”、サウンドマネージメントシステムの「Sub-W設定」(46ページ)が“None”以外のときに設定できます。
- リアハイパスフィルターはサウンドマネージメントシステムの「リアスピーカーの設定」(46ページ)が“None”以外のときに設定できます。

5 クロスオーバーモードを終了します

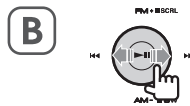
タイムディレイの調整

一番遠いスピーカーの距離に合わせて近いスピーカーの距離差（例では四角で囲まれた数字）を設定して、スピーカー間の距離差をなくします。

基準点は、前後と高さをフロントシートに座った人の耳の位置に、左右を車室内の中央に設定します。

1 タイムディレイモードにします

2 調整する項目を選びます

押すたびにFront/Rear/SubWooferに切り替わります。

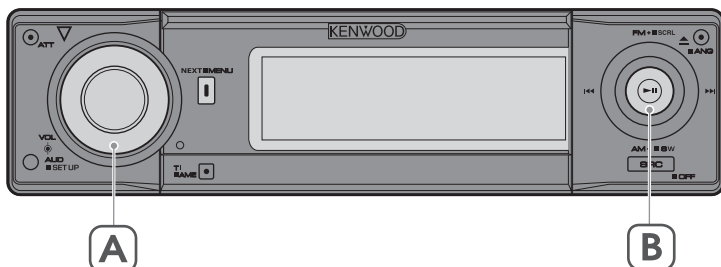
3 スピーカ間の距離差を調整します。

押すたびに次のように切り替わります。

項目	表示	設定値
Front	DTA Front (フロントスピーカーの距離差)	**0** ～ 610cm (5cm間隔)
Rear	DTA Rear (リアスピーカーの距離差)	**0** ～ 610cm (5cm間隔)
SW	DTA SubWoofer (サブウーファーの距離差)	**0** ～ 610cm (5cm間隔)

（太字は初期設定値）

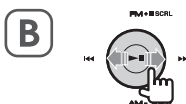
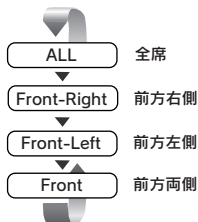
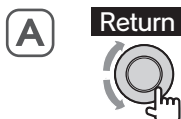
- "DTA SubWoofer" は「サブウーファー出力設定」(45ページ)が "ON"、サウンドマネージメントシステムの「Sub-W設定」(46ページ)が "None" 以外のときに設定できます。
- "DTA Rear" はサウンドマネージメントシステムの「Sub-W設定」(46ページ)が "None" 以外のときに設定できます。

4 タイムディレイモードを終了します

サウンドフィールドコントロール /

ポジションの選択

聴く位置に合わせて、ポジション（視聴位置）を設定します。

1 ポジションモードにします

2 ポジションを設定します

押すたびに次のように切り替わります。

3 ポジションモードを終了します

イコライザーコントロール

6つのパターン選択ができるプリセットと、フロント／リアそれぞれの音質を調整できるユーザーモードを装備したdBイコライザー。
ユーザープリセットモードでは、設置場所や大きさの違いで聞こえ方が変わってしまうフロントスピーカーとリアスピーカーの音をそれぞれ調整し、最適な音場空間を創り出せます。
周波数は4バンド、Qファクターは全バンドで詳細な設定が可能。フロントとリアの音質をそれぞれ細かく設定できるので、こだわりのサウンドを実現できます。

Before CHECK は、マルチキーシステムを使用している機能です。
はじめに「Help? Multi Key system」（80ページ）をご覧ください。

イコライザーコントロール

イコライザーなどを設定するモードです。
あらかじめキャビン（車種）やスピーカーサイズをサウンドマネジメントシステム（46ページ）で登録しておきます。

Before CHECK

<システムキーモード>表示の状態で操作します。
<システムキーモード>になっていない場合は、 を押します。

1 イコライザーコントロールモードにします

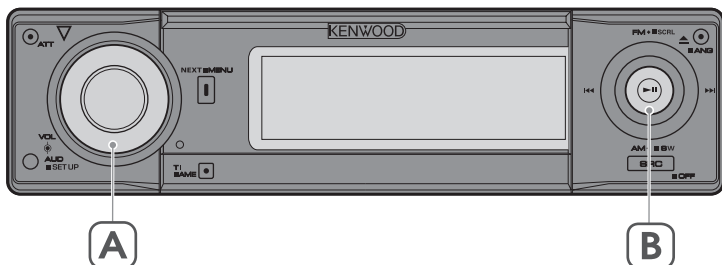
EQ
2 設定したい項目を選びます

項目	内容
db EQ	dBイコライザー設定（54ページ）
Front	フロントイコライザー設定（55ページ）
Rear	リアイコライザー設定（55ページ）
Preset	設定値の登録/呼び出し（58ページ）

- 設定したい項目（dBイコライザー、イコライザーの調整）の操作をします。設定項目は、各項目の説明をご覧ください。
- 「オーディオセットアップ」（45ページ）の“2ZONE”が“ON”のときはイコライザーコントロールは設定できません。

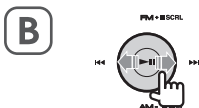
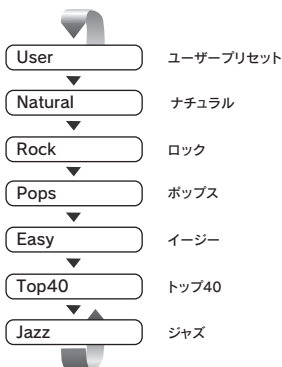
3 イコライザーコントロールモードを終了します

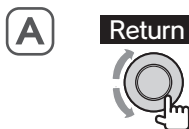
Return

イコライザーコントロール

dBイコライザー

ジャンル別に設定されたイコライザーカーブを呼び出します。

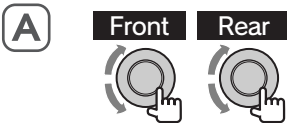
1 dBイコライザーモードにします

2 イコライザーカーブを選びます

押すたびに次のように切り替わります。

- はじめに「スピーカーサイズの選択」(48ページ)でスピーカーを設定してください。
- “User”は「イコライザーの調整」(55ページ)で設定した値を呼び出します。
- それぞれの音質の特徴については「Help ?Word」(93ページ)をご覧ください。
- 本機をリセットすると「ユーザーメモリー」(58ページ)の“Memory1”に登録したイコライザーの設定値が“User”に設定されます。(“Memory1”に“EQ”を設定した場合のみ)

3 dBイコライザーモードを終了します

Before CHECK は、マルチキーシステムを使用している機能です。
はじめに「Help? Multi Key system」(80ページ)をご覧ください。

イコライザーの調整

音楽に合わせて独自のイコライザーカーブに調整できます。

1 イコライザーモードを選択します

FrontまたはRearを選びます。

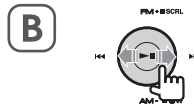
2 設定したい周波数バンドを選びます

押すたびに周波数バンドがBand1～4に切り替わります。

3 調整する項目を選びます

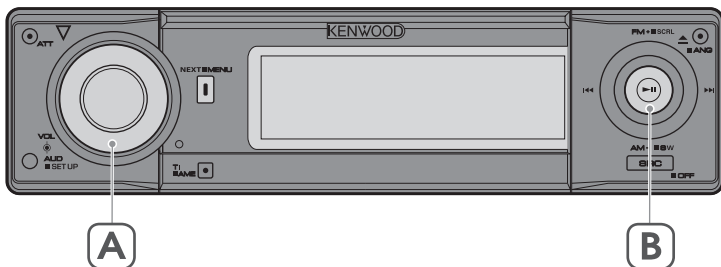
押すたびに次のように切り替わります。

*マークが付いた項目の詳しい機能については、「Help?Word」(93ページ)をご覧ください。

4 選んだ項目を調整します

押すたびに次のように切り替わります。

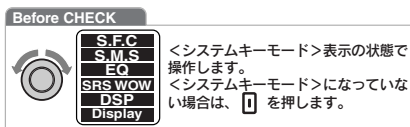
項目	表示	設定値	
周波数	FREQ (周波数選択)	Band1	60/80/100/120/160/200(Hz)
		Band2	250/315/400/500/630/800(Hz)/1(kHz)
		Band3	1.25/1.6/2/2.5/3.15/4(kHz)
		Band4	5/6.3/8/10/12.5/16(kHz)
レベル	Level (レベル選択)	−9 ～ ＋9	
クオリティ	Q Factor (クオリティ選択)	0.25/0.50/1.00/2.00	

5 イコライザーモードを終了します

イコライザーコントロール

WOWコントロール

SRS WOWの設定を呼び出します。

Before CHECK

<システムキーモード>表示の状態で操作します。
<システムキーモード>になっていない場合は、 を押します。

1 WOWコントロールモードにします

2 設定したい項目を選びます

3 項目を調整します

押すたびに次の順で切り替わります。

項目	内容
Effect	Low/Middle/High/User/Through
FOCUS	OFF/1-9
TB-F	OFF/1-4
TB-R	OFF/1-4
SRS 3D	OFF/1-4

- SRS WOWの詳しい説明については、「Help? Word」（94ページ）をご覧ください。
- “SRS 3D”は、Tunerモード中または交通情報受信中は設定できません。
- 「オーディオセットアップ」（45ページ）の“2ZONE”が“ON”のときはWOWコントロールは設定できません。
- “FOCUS”、“SRS 3D”は、フロントスピーカから出力される音声にのみ効果をつけられます。
- Effectの設定は“FOCUS”、“TB-F/TB-R”および“SRS 3D”の値を一括して設定します。設定値は以下のようになります。

SRS WOW	FOCUS	TB-F/TB-R	SRS 3D
High	8	4	4
Middle	6	3	2
Low	3	2	1
User	「WOWコントロール」で設定した値を呼び出します。		
Through	OFF	OFF	OFF

4 WOWコントロールモードを終了します

車室内のどのシートでも理想のサラウンド空間を体感できる「SRS 3D」、スピーカーの再生能力に依存することなく存在感ある重低音を再生する「SRS TruBass」、スピーカーの設置場所に左右されることなく、フロントガラスの高さに理想の音場空間を実現する「FOCUS」という3つのシステムを融合することで、自然で心地よい理想の音響空間を創りあげます。

Before CHECK は、マルチキーシステムを使用している機能です。
はじめに「Help? Multi Key system」(80ページ)をご覧ください。

DSP設定

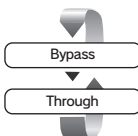
イコライザー機能やサウンドマネジメントシステムを停止します。
DSP回路を通らないソース音源を聴くことができます。

Before CHECK

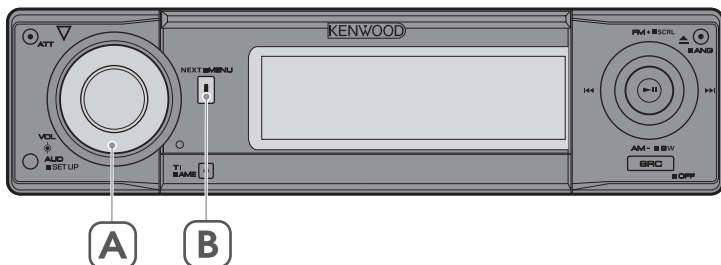
<システムキーモード>表示の状態で操作します。
<システムキーモード>になっていない場合は、 を押します。

1 DSP設定モードにします

2 DSPを設定します

押すたびに、DSPが以下のように設定されます。

Bypass: DSP回路をバイパスします
Through: DSP回路が動作します

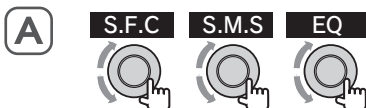
- 「オーディオセットアップ」(45ページ)の"2ZONE"が"ON"のときはDSPの設定はできません。
- DSP設定が"Bypass"のときは、オフセット デュアルディファレンシャルD/Aシステム(94ページ)の効果はありません。

イコライザーコントロール

ユーザーメモリーの登録

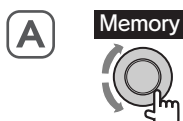
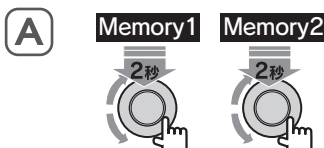
サウンドマネージメントシステム、フィールドコントロール、イコライザーコントロールで設定した値を一括して2種類まで登録することができます。あらかじめ各項目を調整しておきます。

1 選択項目を変更します

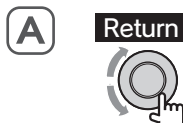
マルチキー表示が項目選択表示に切り替わります。

2 項目を選びます

S.F.C/ S.M.S/ EQのいずれかを選択します。

3 プリセットを選びます

4 ユーザーメモリーモードにします

5 登録する番号を選びます

“MEMORY” 表示が点滅するまで押し続けます。

S.F.C/ S.M.S/ EQの全ての設定値がメモリーされます。

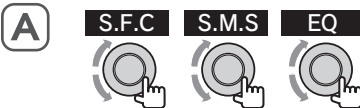
6 ユーザメモリーモードを終了します

Before CHECK は、マルチキーシステムを使用している機能です。
はじめに「Help? Multi Key system」(80ページ) をご覧ください。

ユーザーメモリーの呼び出し

登録したユーザーメモリーを呼び出します。

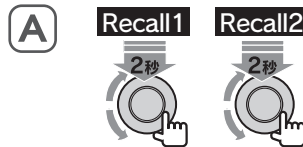
1 選択項目を変更します

マルチキー表示が項目選択表示に切り替わります。

2 項目を選びます

S.F.C/ S.M.S/ EQのいずれかを選択します。

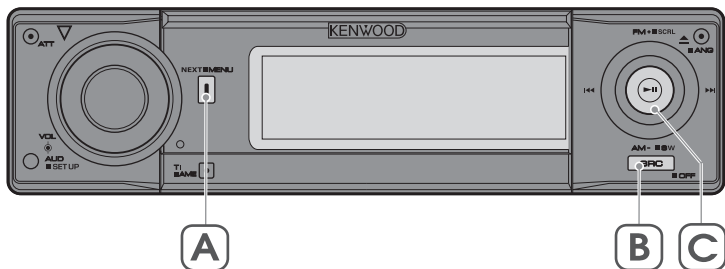
3 プリセットを選びます

4 メモリー呼び出しモードにします

5 呼び出す番号を選びます

"RECALL" 表示が点滅するまで押し続けます。Recall1は、Memory1で設定した値を呼び出します。Recall2は、Memory2で設定した値を呼び出します。

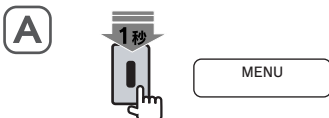
S.F.C/ S.M.S/ EQの全ての設定値が呼び出されます。

6 メモリー呼び出しモードを終了します

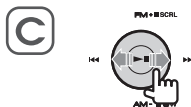
Menu

メニュー設定

操作時のビープ音などの各種の機能を設定します。

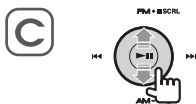
1　設定する項目があるモードにします

2　メニュー設定モードにします

MENU

“MENU” と表示されるまで押し続けます。

3　設定項目を選択します

次表の順番で設定するメニュー項目が切り替わります。

次表の「条件」の内容が満たされていないと、その項目の表示・設定は行えません。

4　設定値を選択します

設定できる項目と値は次のとおりです。

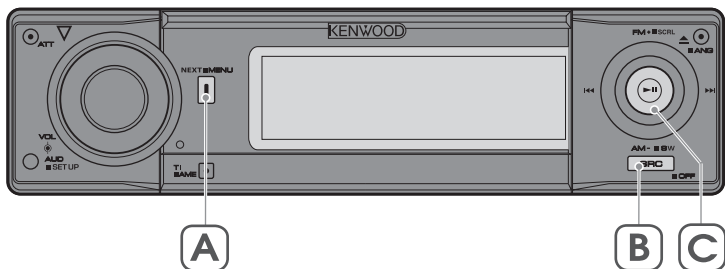
設定項目	設定値	条件
Security* （セキュリティーコードの登録設定）	設定の方法は62ページをご覧ください。	STANDBYモード時
Beep* （ビープ音）	**ON**/OFF	STANDBYモード時
Clock Adjust （時計調整）	設定の方法は64ページをご覧ください。	STANDBYモード時
Date Adjust （日付設定）	設定の方法は65ページをご覧ください。	STANDBYモード時
DSI* （盗難防止用警告ランプ設定）	**ON**/OFF	STANDBYモード時
Button （キーイルミネーション設定）	**Green**/Red	STANDBYモード時
Dimmer* （車両ライトがオン時の減光設定）	**ON**/OFF	STANDBYモード時
Contrast （ディスプレイの明るさ設定）	1/2/3/**4**	STANDBYモード時
Display N/P （ディスプレイの表示設定）	**Auto**/POSI	STANDBYモード時
AMP * （内蔵アンプの出力設定）	**ON**/OFF	STANDBYモード時
Zone2* （2ゾーンの出力選択）	**Rear**/Front	2ZONE時
AMP Bass* （外部アンプ低音出力コントロール）	**Flat**/+6/+12/+18	STANDBYモード以外
AMP FERQ* （外部アンプ低音周波数コントロール）	**Normal**/Low	STANDBYモード以外

（太字は初期設定値）

本機のいろいろな機能を設定します。

設定項目	設定値	条件
AMP Control* （LXアンプコントロールの設定）	設定の方法は68ページをご覧ください。	LXアンプ接続時
Seek Mode* （チューニングモード設定）	**Auto1**/Auto2/Manual	TUNERモード時
MONO* （モノラル受信設定）	ON/**OFF**	FM放送受信時
Name Set （FM/AM放送局/CDのネーミング設定）	設定の方法は24ページをご覧ください。	TUNER/CDモード時
AUX Name Set （AUX入力のネーミング設定）	設定の方法は27ページをご覧ください。	AUXモード時
漢字優先* （テキストの漢字の優先表示）	**ON**/OFF	STANDBYモード時
Scroll* （テキスト表示のスクロール設定）	**Auto**/Manual	―――
NAV Guide* （ナビ音声ガイド時の割り込み/ミュート設定）	**OFF**/ATT/INT	STANDBYモード時
Built in AUX （内蔵AUXソースの切り替え設定）	ON/**OFF**	STANDBYモード時
CD Read* （CD Read設定）	**1**/ 2	STANDBYモード時
DISP Data Download* （画像のダウンロード）	ダウンロードの方法は66ページをご覧ください。	STANDBYモード時
Voice Index* （ACDriveディスク音声ガイド設定）	ON/**OFF**	ACDriveディスク時
ACD F/W Version* （ACDriveファームウェア確認）	―――	CDモード時
ACD Unique ID* （ACDriveのシリアル番号表示）	―――	CDモード時
DEMO Mode （デモンストレーションモード設定）	設定の方法は69ページをご覧ください。	STANDBYモード時

（太字は初期設定値）

- *マークが付いた項目の詳しい機能については、「Help? Word」（92ページ）をご覧ください。
- “Security”の機能は“DEMO Mode”が“OFF”のときに設定できます。
- “Button”でキーイルミネーションが設定できるキーはTI/AMEキー、ATT、NEXT、EJECTキーです。
- “AMP Bass”と“AMP FERQ”で本機からコントロール可能なアンプ機種についてはカタログをご覧ください。
- STANDBYモード中は、ナビ音声ガイドの割り込みはできません。
- “NAV Guide”項目を“INT”に設定して、ナビ音声ガイドが割り込んだときに、ナビゲーションシステムでKSF(HDX-710などの音楽ソース：別売品)を再生していると、ナビゲーションによってはKSFの音声がナビ音声ガイドと一緒に聴こえる場合があります。

Menu

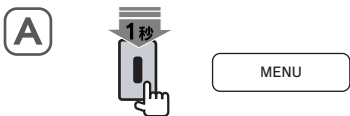
セキュリティコード

暗証番号を登録することにより盗難を抑制します

設定したセキュリティコードは変更・削除はできません。また、機能の解除もできません。
コードは忘れないようにメモを取るなどしてください。

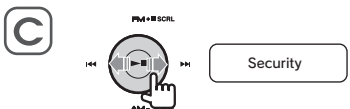
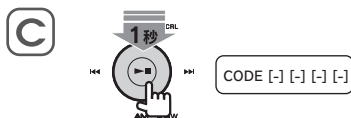
1 STANDBYモードにします

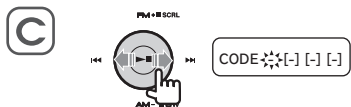
STANDBY

2 メニュー設定モードにします

MENU

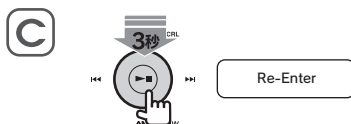
"MENU" と表示されるまで押し続けます。

3 セキュリティコード項目を選択します

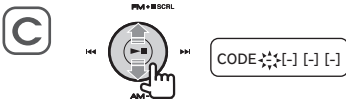
Security

4 セキュリティコード入力を開始します

"CODE - - - -"と表示されるまで押し続けます。

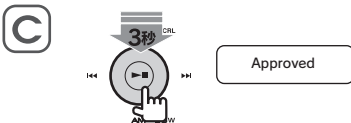
5 数字を入力する位置にカーソルを移動します

6 数字を選択します

7 5~6を繰り返して、4つの数字を入力します

8 セキュリティコードを登録します

"Re-Enter" と表示されるまで押し続けます。

9 セキュリティコードを再入力します

CODE [-] [-] [-]

確認のためセキュリティコードを手順５～７の方法で再度入力します。

10 セキュリティコードを確認登録します

Approved

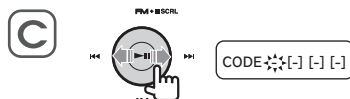
“Approved”と表示されるまで押し続けます。セキュリティコードの登録が完了し、この機能がオンになります
セキュリティコードの登録が完了後に、リセットボタンを押したり、本機をバッテリーの接続から外すと、登録したセキュリティコードの入力が必要になります。詳しくは右記をご覧ください。

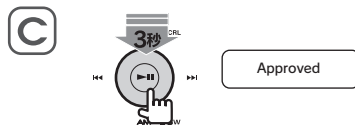
１回目と違うコードを入力すると、１回目のセキュリティコードの入力に戻ります。

11 セキュリティコードを終了します

リセットボタンを押したり、本機をバッテリーから外してから最初に使うときは…

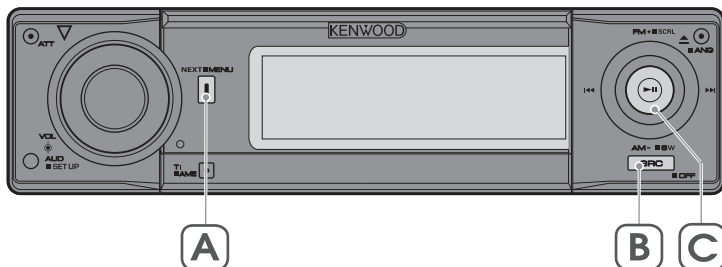
1 セキュリティコードを入力します

CODE [-] [-] [-]

セキュリティコードを手順５～７の方法で入力します。

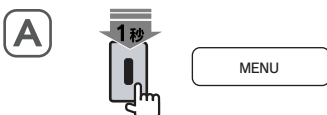
2 セキュリティコードを確定します

Approved

“Approved”と表示されるまで押し続けます。本機が使用可能となります。

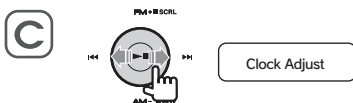
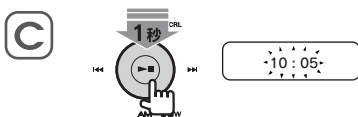
セキュリティコードを登録したときと違うコードで入力すると電源が自動的にオフになります。このようなときは、SRC を押して電源をオンにしてから再度セキュリティコードを入力してください。

Menu

時刻合わせ

時刻を合わせます。

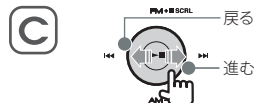
1 STANDBYモードにします

2 メニュー設定モードにします

"MENU" と表示されるまで押し続けます。

3 時計調整項目を選択します

4 時刻合わせを開始します

時計表示が点滅するまで押し続けます。

5 時刻を合わせます

"時" を合わせます

"分" を合わせます

6 時刻合わせを終了します

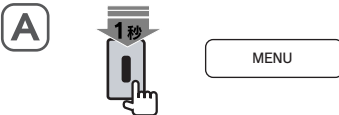
分を調整したときは、"00" 秒からカウントがスタートします。

日付合わせ

日付を合わせます。

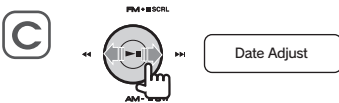
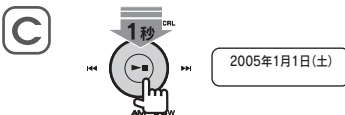
1 STANDBYモードにします

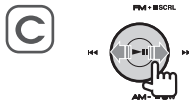
STANDBY

2 メニュー設定モードにします

MENU

“MENU”と表示されるまで押し続けます。

3 日付設定項目を選択します

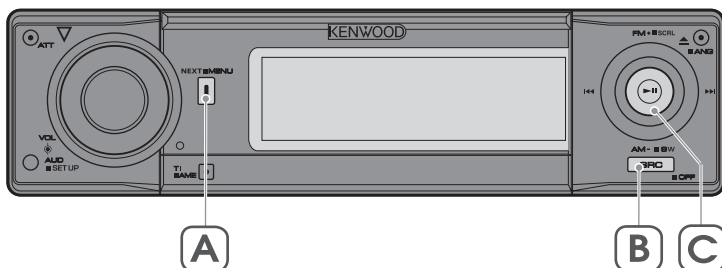
Date Adjust

4 日付の設定を開始します

日付が点滅表示されるまで押し続けます。

5 設定する項目を選択します

押すたびに、設定できる項目（年、月、日）が切り替わります。点滅中の項目が設定可能な項目です。

6 日付を調整します

7 5～6を繰り返して日付調整をします

8 日付設定を終了します

Menu

画像のダウンロード

壁紙を本機にダウンロードして、ディスプレイに表示します。

1 CD-R/CD-RWを作成します

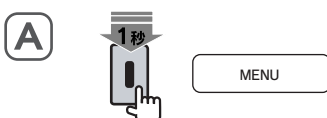
画像のダウンロード用のCD-R/CD-RWの作成方法はホームページ『http://www.kenwood.net-disp.com』をご覧ください。

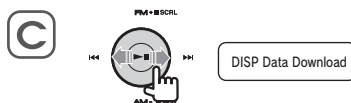
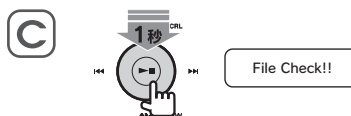
2 CD-R/CD-RWを挿入します

ダウンロードするファイルの入ったCD-R/CD-RWを本機に挿入してください。

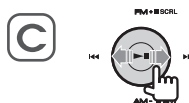
3 STANDBYモードにします

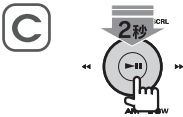
STANDBY

4 メニュー設定モードにします

“MENU”と表示されるまで、押し続けます。

5 表示ダウンロード項目を選びます

6 画像のダウンロードモードにします

“File Check”と表示されるまで押し続けます。

ダウンロードできる画像ファイルが見つからない場合は“No Display File”と表示されます。SRC ボタンを押すと画像のダウンロードモードが解除されます。

7 ダウンロードしたい画像ファイルを選択します

本機にダウンロードできるファイルやCD-R/CD-RWの作成方法は『http://www.kenwood.net-disp.com』をご覧ください。

8 画像のダウンロードを開始します

ディスプレイに以下の表示がされます。
ダウンロードが終了すると“Finished Download”と表示されます。

枚数表示（最大10枚）
画像枚数を表示します。

色表示（256/512/4096色）
画像データの色数を表示します。

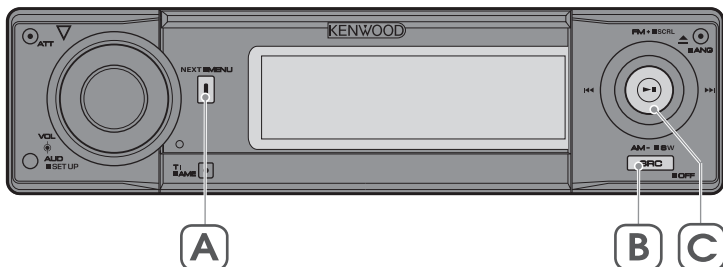
- “Downloading”と表示されている間は、本機の操作や、エンジンの始動・停止などはしないでください。
- 画像のダウンロードには最大で20分程度の時間がかかります。

ダウンロードを中止するには…

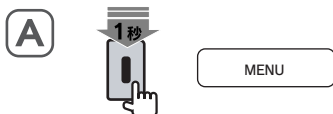
9 画像の登録を終了します

メニューモードを終了するときは、もう一度押します。

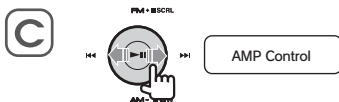
- ダウンロードできる画像は、“壁紙”が1ファイルです。新しい画像をダウンロードすると、今までの画像が書き替えられます。
- ダウンロードした画像を表示させるには「グラフィック/スペアナ表示切り替え」（30ページ）と「壁紙の選択」（31ページ）を参照してください。

Menu

LXアンプコントロール

別売品のLXアンプが接続されているときに、本機からコントロールすることができます。

1 メニュー設定モードにします

MENU

“MENU”と表示されるまで押し続けます。

2 アンプコントロールモードを選びます

3 アンプコントロールモードにします

項目が表示されるまで押し続けます。

4 調整するアンプコントロール項目を選択します

アンプコントロール項目の詳細については、LXアンプに付属の取扱説明書をご覧ください。

5 アンプコントロール項目を調整します

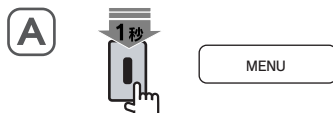
6 アンプコントロールモードを終了します

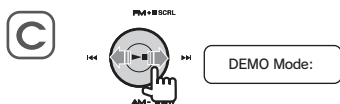
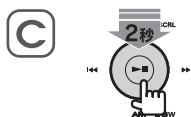
LXアンプはSTANDBYモード中は操作できません。

デモンストレーションモード

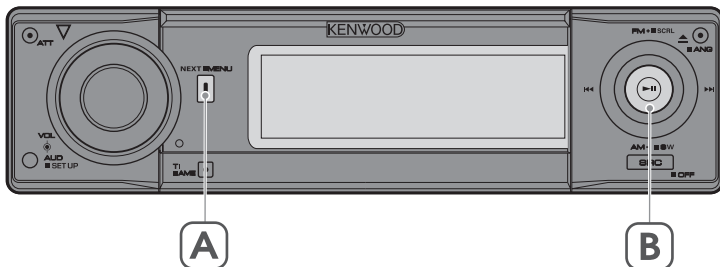
本機の機能をディスプレイに表示します。

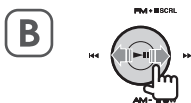
1 STANDBYモードにします

2 メニュー設定モードにします

“MENU”と表示されるまで押し続けます。

3 デモンストレーションモードを選びます

4 オン/オフを選択します

2 秒以上押すたびに設定が切り替わります。

5 デモンストレーションモードを終了します

TVコントロール

チャンネル選択

受信するTV放送を選びます。

動作は接続している別売品のTVモニターの設定によって異なります。
詳しくは、TVモニターの取扱説明書を参照してください。

バンド／ビデオ切り替え

ＴＶ放送のバンドとビデオ入力を切り替えます。

押すたびにTVバンドの放送局とビデオ入力が切り替わります。

マニュアルメモリー

受信中の放送局をメモリーします。

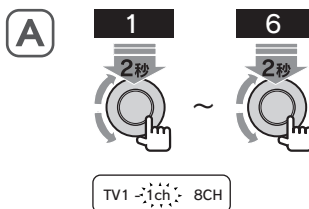
<ソースキーモード>表示の状態で操作します。
<ソースキーモード>になっていない場合は、 を押します。

1 バンドを選びます

2 放送局を選びます

3 プリセットナンバー（1～6のいずれか）を選びます

プリセットナンバーが１回点滅表示するまで押し続けます。

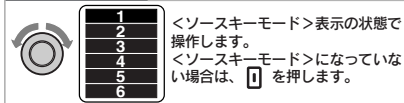
オプション

別売品のLX-BUS 対応のナビゲーション、HDX-700/HDX-710などが接続されているときに、本機からTVのコントロールをすることができます。

Before CHECK は、マルチキーシステムを使用している機能です。
はじめに「Help? Multi Key system」（80ページ）をご覧ください。

プリセットチューニング

メモリーボタン（1～6）にメモリーされている放送局を受信します。

Before CHECK

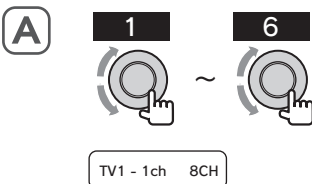
<ソースキーモード>表示の状態で操作します。
<ソースキーモード>になっていない場合は、 を押します。

1 バンドを選びます

2 プリセットナンバー（1～6のいずれか）を選びます

1

～

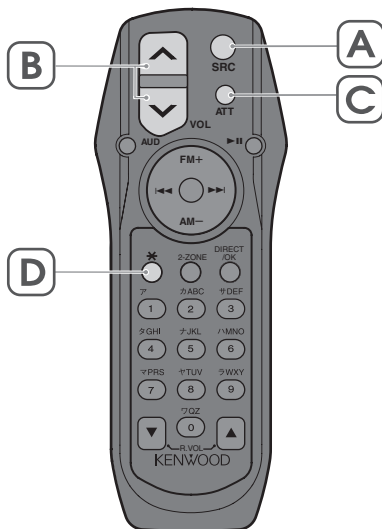
6

TV1 - 1ch　8CH

選択したプリセットナンバーがメモリーナンバーに表示され、メモリーされているチャンネルが呼び出されます。

音声多重切り替え

音声多重のメイン音声とサブ音声を切り替えます。

オプション

各モード共通

ソース切り替え

プレイするソースを切り替えます。

音量調節

音量を調節します。

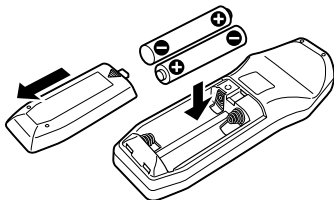
アッテネーター

ワンタッチで音量を小さくします。もう一度押すと、元の音量に戻ります。

操作パネル角度調整

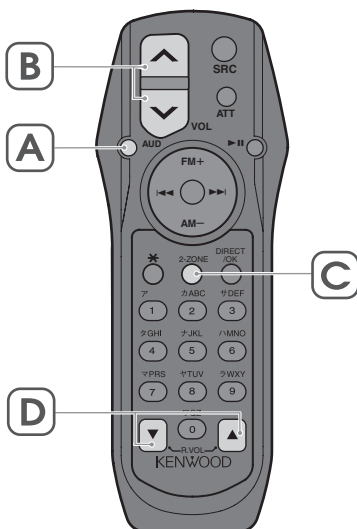
操作パネルの角度を調整します。

電池の入れかた

付属の電池（単３形２本）を＋／－の向きを正しく合わせて入れてください。

操作できる距離が短くなったり、なかなか動作しない場合は、乾電池が消耗していることが考えられます。このような場合は、２個とも新しい乾電池と交換してください。新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用すると、液漏れなどによる故障の原因になります。

注 意

- リモコンは、ブレーキ操作などによって動かない場所においてください。ペダルの下などに落ちると、運転操作に支障をきたして危険です。
- 電池を炎の中に入れたり、高温による場所に置かないでください。破裂することがあります。
- 電池を充電、ショート、分解、加熱したり、火の中に入れたりしないでください。液漏れを起こす危険があります。液漏れを起こし、目に入ったり、皮膚や衣類に付着したときは、すぐに水で洗い流し、すぐに医師に相談してください。
  また、電池は子供の手の届かないところに置き、万一飲み込んだときは、すぐに医師に相談してください。

オーディオコントロール/デュアルゾーン

オーディオアイテムを選択します

A

オーディオアイテムを選択します。

オーディオアイテムを調整します

B

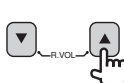
オーディオアイテムを調整します。

デュアルゾーンを選びます

C

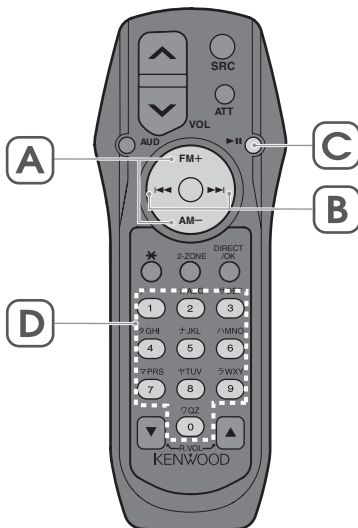
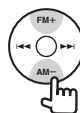
デュアルゾーンをON/OFFします。

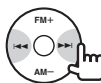
リア音量調節

D

デュアルゾーンがオン時にリアの音量を調節します。

調整できるオーディオアイテムは「オーディオコントロール」(44ページ)をご覧ください。「オーディオセットアップ」(45ページ)は調整できません。

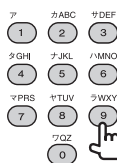
リモートコントロール

CD/MP3/WMA/AAC/ACDrive/Changer/KSF モード

ディスクサーチ (ディスクチェンジャーのみ) /フォルダサーチ

プレイするディスク／フォルダを選択します。
また、ディスク選択時にテンキーに続けて押すと、指定した番号のディスクをダイレクトサーチします。

トラックサーチ／ファイルサーチ

プレイする曲／ファイルを選択します。
また、テンキーに続けて押すと、指定した番号のトラック／ファイルをダイレクトサーチします。

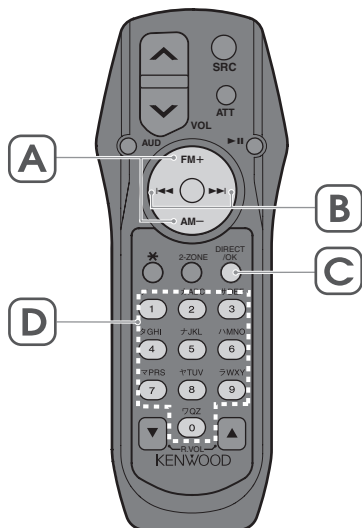
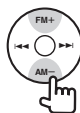
プレイ／ポーズ

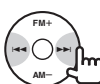
プレイを一時停止します。
もう一度押すと、プレイを再開します。

テンキー

テンキーに続けてディスクサーチまたはトラックサーチキーを押すと、ダイレクトサーチできます。

MP3/WMA/AACファイルをプレイ時はテンキーに続けてファイルサーチキーを押すとプレイ中のフォルダ内のファイルをダイレクトサーチできます。

KSFをプレイ時は、ダイレクトサーチできません。

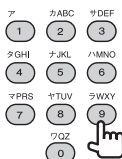
TUNER モード

バンド切り替え

受信するバンドを切り替えます。

選曲

受信する放送局を切り替えます。

ダイレクトチューニング

このボタンに続けて、受信する放送局をテンキーで指定します。

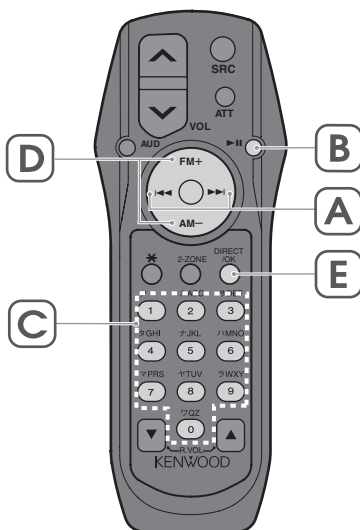
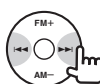
例：76.1MHz(FM)の場合（3 桁）

例：522kHz(AM)の場合（4 桁）

テンキー

メモリーされている放送局の番号を選択します。（1 〜 6）

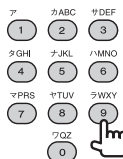
ダイレクトサーチキーに続けて、受信するFM/AM放送局の周波数の数字を指定します。

リモートコントロール

DNPS（ディスクネームプリセット）/ SNPS（ステーションネームプリセット）

カーソル

カーソルを文字を入力する位置に移動します。

文字種切り替え

入力する文字の種類（英大文字/英小文字/数字・記号/カタカナ）を切り替えます。

テンキー

文字を入力します。

例：「コ」を入力する場合（カタカナ）

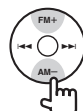
2（9 回押す）

例：「h」を入力する場合（英小文字）

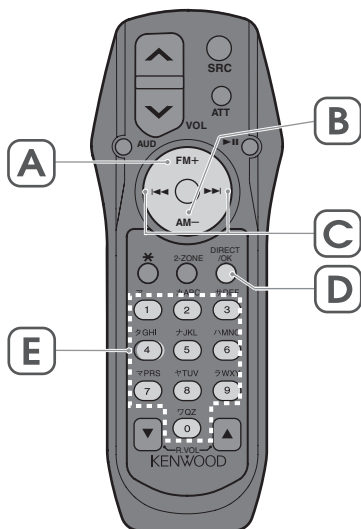
4（2 回押す）

文字選択

文字を順に切り替えます。

終了

登録が完了します。

DNPS/SNPSを開始する方法は、24ページを参照してください。

TV モード

バンド／ビデオ切り替え

受信するTVバンドの放送局とビデオ入力を切り替えます。

音声多重切り替え

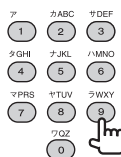
メイン音声／サブ音声を切り替えます。

チャンネル選択

受信するチャンネルを選択します。

ダイレクトチューニング

このボタンに続けて、受信する放送局をテンキーで指定します。
例：3 chの場合（2 桁）
0 3

テンキー

メモリーされている放送局の番号を選択します。（1 ～ 6）

ダイレクトチューニングキーに続けて、受信する放送局のチャンネルを指定します。

Help ? MP3/WMA/AAC

本機はMP3/WMA/AACファイルをプレイすることができますが、使用できるMP3/WMA/AACファイルを記録したメディアやフォーマットには制限があります。MP3/WMA/AACファイルを書き込むときには以下のことに注意してください。指定のフォーマット以外で書き込まれたMP3/WMA/AACファイルは、正常にプレイされなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。以下に記載されている制限文字数はいずれも１byte文字を使用した場合の文字数です。

プレイできるオーディオファイル

本機でプレイできるオーディオファイルは、MP3とWMA/AACです。

- MP3/WMA/AAC以外のファイルに、".MP3"、".WMA"または".M4A"の拡張子を付けると、MP3/WMA/AACファイルと誤認識して再生をしてしまい、大きな雑音が出てスピーカーなどを破損する恐れがあります。
  MP3/WMA/AAC以外のファイルに、".MP3"、".WMA"または".M4A"拡張子を付けないようにしてください。
- MP3/WMA/AACファイルと認識されてプレイされるファイルは、".MP3"、".WMA"または".M4A"の拡張子が付いたものだけです。MP3/WMA/AACファイルには、".MP3"、".WMA"または".M4A"拡張子を付けて保存してください。
- コピープロテクト（著作権保護）されたファイルはプレイできません。

プレイできるMP3フォーマット

本機でプレイできるMP3ファイルは、MPEG 1, MPEG 2 Audio Layer 3規格のものです。

- サンプリング周波数
  ：16 ,22.05 ,24,32,44.1,48（kHz）
- ビットレート：８～320（kbps）

プレイできるWMAフォーマット

本機でプレイできるWMAファイルは以下のフォーマットのものです。

- Windows Media™ Audio 準拠
- サンプリング周波数：32,44.1,48（kHz）
- ビットレート：48～ 192（kbps）

Windows Media™ Player 9以上の一部の機能を使用すると正常にプレイできない場合があります。
詳しい対応フォーマットに関する情報は、下記URLをご覧ください。
URL:http://www.kenwood.com/j/products/car_audio/q_and_a.html

プレイできるAACフォーマット

本機でプレイできるAACファイルは拡張子が".M4A"のAAC-LCフォーマットのものです。
詳しい対応フォーマットに関する情報は、下記URLをご覧ください。
URL:http://www.kenwood.mediamanager.jp

使用できるメディア

使用できるMP3/WMA/AACを収録するためのメディアはCD-ROM、CD-R、およびCD-RWです。（本機ではCD-RWの簡易フォーマットで作成されたメディアはプレイできません。）

MP3/WMA/AACファイルに圧縮するときは、圧縮ソフトの転送ビットレートの設定は"128kbps"の"固定"を推奨します。何も記録されていないメディアに一度で最大容量まで記録する場合は、"Disc at Once"の設定をしてください。

使用できるディスクのフォーマット

本機で使用できるディスクは、以下のフォーマットです。

- **ISO 9660 Level 1**
- **ISO 9660 Level 2**
- **Joliet**
- **Romeo**
- **ロングファイルネーム**

表示できる最大文字数

ファイル/フォルダ名：128文字
MP3 ID3 Tag/ WMAコンテンツプロパティ：30文字
AAC Song Information：60文字

- ファイル名に付けられる最大文字数には、区切り文字"."と拡張子３文字を含みます。
- AACに記録されたID3 Tagは、表示できません。

ファイルとフォルダの構成制限

本機で再生できるファイルとフォルダの構成には以下の制限があります。

- **最大ディレクトリ階層：８階層**
- **１フォルダ中の最大ファイル数：4096**
- **最大フォルダ数：100**

ファイル名とフォルダ名の入力

ファイル名とフォルダ名は、半角英数文字、カナ文字または日本語で入力してください。これ以外の文字で入力されているファイル名とフォルダ名は正常に表示されません。また、ライティングソフトや使用するディスクのフォーマットによって表示できる文字が制限されます。詳しくはライティングソフトの説明書をご覧ください。

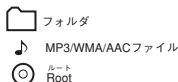
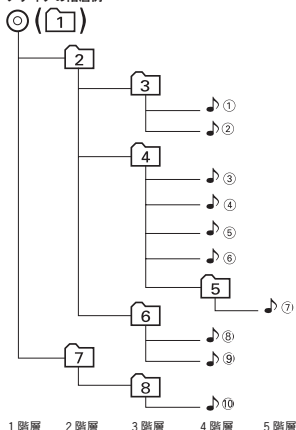
メディアに書き込むファイルについて

MP3/WMA/AACが収録されているメディアを挿入すると、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。
このため、プレイするメディアに多くのフォルダやMP3/WMA/AAC以外のファイルを書き込むと、プレイするまで長時間必要になります。
また、次のMP3/WMA/AACファイルのプレイに移るまで時間がかかったり、ファイルサーチやフォルダサーチがスムーズに行えない場合があります。

MP3/WMA/AACファイルをプレイする順番

プレイ、フォルダサーチ、ファイルサーチ、およびフォルダセレクトでファイルやフォルダが選択される順番は、ライティングソフトで書き込まれた順番になります。このため、プレイされると予想していた順番と実際にプレイされる順番が一致しないことがあります。

ライティングソフトにもよりますが、“01”～“99”などとファイル名の頭にプレイする順番を入力してからCD-Rなどに書き込むことで、プレイする順番を設定できることがあります。

以下のようなフォルダ・ファイル階層のメディアでフォルダサーチ、ファイルサーチ、およびフォルダセレクトを行った場合は次のようになります。

♪④ 再生中にファイルサーチを行うと…

押すボタン / プレイ中のファイルNo.	⏮	⏭
♪④	♪④の最初 ➡ ♪③	♪⑤ ➡ ♪⑥

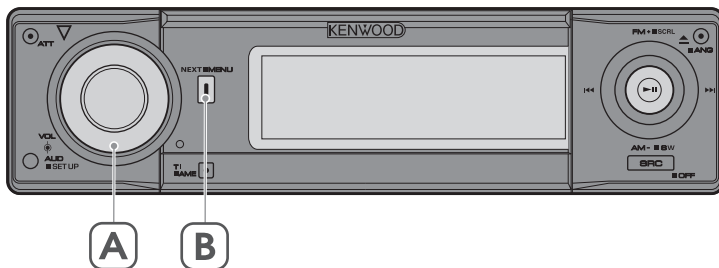
♪④ 再生中にフォルダサーチを行うと…

押すボタン / 現在のフォルダNo.	AM−	FM+
4	3 ➡ 2 ➡ 1 ➡ 8 •••	5 ➡ 6 ➡ 7 ➡ 8 ➡ 1 •••

♪④ 再生中にフォルダセレクトを行うと…

押すボタン / 現在のフォルダNo.	⏮	⏭	FM+	AM−
4	3	6	2	5

音楽などの著作物を個人的に楽しむなどの場合を除き、著作権利者の許諾を得ずに複製（録音）、配布、配信することは著作権法で禁止されています。

Help ? Multi Key system

● ボリュームノブをマルチコントロールモードにして、各種機能を設定します。[I] ボタンで＜システムキーモード＞と＜ソースキーモード＞を切り替えます。
本書では、 Before CHECK と記載されている機能は [I] ボタンで対応のモードにしてから操作を行います。

1 設定したいキーモードを選びます

押すたびにキーモードが切り替わります。

- ソースキーモード、システムキーモード中はボリュームノブまたはボリュームノブ/プレイキーの照明が点滅します。
- STANDBY/AUX/AUX-EXTソース時は、ソースキーモードは設定できません。
- キーモード選択表示時は、10秒間以上何も操作しないと、通常モードに戻ります。

2 設定したい項目を選びます

回すたびに設定項目が切り替わります。

●

切り替え例

手順2を繰り返します

設定する項目によって操作しないこともあります。詳しくは各操作手順を参照してください。

3 終了するには

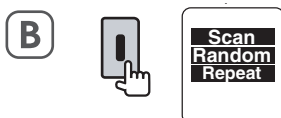
マルチファンクションが解除するまで切り替えます。

- 設定中に表示されるReturnを選択しても解除できます。
- キーモード選択表示時は、10秒間以上何も操作しないと、通常モードに戻ります。

＜ソースキーモード中の機能＞

CD/MP3/WMA/AAC/Changer/KSF（16〜21ページ）、TUNERモード（22〜23ページ）およびTVコントロール（70〜71ページ）など、音楽ソース別の機能を使うことができます。

【ソースキーモードの操作例】CDをプレイ中にランダムプレイをするときは…

1．＜ソースキーモード＞にします

2．ランダムプレイを選びます

ボリュームノブを回してRandomを選択します。

ボリュームノブを押すたびに、ランダムプレイがオン/オフします。

詳しいランダムプレイの操作方法については「ランダムプレイ」（17ページ）を参照してください。

＜システムキーモード中の機能＞

S.F.C サウンドフィールドコントロールの設定ができます。（49〜52ページ）

S.M.S サウンドマネージメントシステムの設定ができます。（46〜48ページ）

EQ イコライザーの設定ができます。（53〜55ページ）

SRS WOW WOWコントロールの設定ができます。（56ページ）

DSP DSPの設定ができます。（57ページ）

Display ディスプレイコントロールの設定ができます。（28〜41ページ）

Help ? ACDrive

本機にはMedia Maneger PCアプリケーションソフトウェアのCD-ROMが付属しています。

Media ManegerであなただけのオリジナルＣＤディスク(ACDrive)が作れます。
アプリケーションソフトのインストール方法は、別冊 Media Maneger インストール説明書をご覧ください。

Media Managerの機能について

- 音楽CD の読み込みと集中管理
  お手持ちの音楽CD をパソコンに読み込んで保存します。また、他のパソコン等で作成した音楽ファイル等もMedia Manager の管理下に保存できます。
- 音楽情報の管理
  音楽CD を読み込むときに、GraceNote CDDB に自動的にアクセスして、アルバム/ 曲情報を取得してMedia Manager のデータベースに登録します。音楽情報は、必要に応じて変更できます。これにより、パソコンですべての音楽情報を一括管理できるようになります。
- ACDriveディスクの作成
  Media Manager が管理している曲の中から希望の曲をディスク（CD-R/CD-RW）に書き出すことができます。このACDrive ディスクは、本機で演奏できます。

- Media Managerの取り扱いについてはCD-ROMに収録されている説明書およびアプリケーションヘルプを参照してください。
- Media Manager の機能や使用方法などについては、ケンウッド カスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。
- Media Managerに関する最新の情報は、下記URLをご覧ください。
  URL:http://www.kenwood.mediamanager.jp
- Media Managerは米国 PhatNoise社の製品です。

Help ? Operation

電源がオンにならない

原因	対処
●ヒューズが切れている。	●コード類がショートしていないことを確認した後、同じ容量のヒューズと交換してください。
●入出力ケーブル、電源コード、パワーコントロールコードなどの接続が間違っている。	●「接続」（100ページ）を参照して正しく接続し直してください。
●スピーカーケーブルがショートしていたり、シャーシなどに接触してプロテクション機能が働いている。	●スピーカーケーブルを正しく配線または絶縁してからリセットボタンを押してください。

音が出ない/音が小さい

原因	対処
●フェダー、バランスが片方に寄っている。	●フェダーやバランスを正しく調整してください。
●「メニュー設定」の“AMP”項目が“OFF”になっている。	●「メニュー設定」（60ページ）の“AMP”項目を“ON”に設定してください。
●入出力ケーブルなどの接続が間違っている。	●「接続」（100ページ）を参照して正しく接続し直してください。

操作スイッチを押しても動作しない

原因	対処
内蔵のマイコンが誤動作している。	リセットボタンを押してください。（8ページ）

音質が悪い（音がひずむ）

原因	対処
●音量が大きすぎる。	●音量を適正に調整してください。
●スピーカーコードが車両側のネジにかみ込んでいる。	●スピーカーの配線を確認してください。
●スピーカーの配線が間違っている。	●スピーカー出力端子をそれぞれのスピーカーと正しく接続してください。

チューナーの感度が悪い

原因	対処
●自動車のアンテナが伸びていない。	●アンテナを十分に伸ばしてください。
●アンテナコントロール電源が接続されていない。	●「接続」（100ページ）を参照して正しく接続し直してください。
●アンテナ入力がきちんと接続されていない。	●アンテナ入力を確実に接続してください。

SRCボタンを押しても、望むソースに切り替わらない

原因	対処
●それぞれのソースを聴くのに必要な別売品のユニットが接続されていない。	●接続されていないソースには切り替わりません。「接続」（100ページ）を見て正しく接続してください。
●別売品ユニットを接続後にリセットボタンが押されていない。	●リセットボタンを押してください。（8ページ）
●別売品ユニットのO-NスイッチをO側にしている。	●O-NスイッチはN側に設定してください。
●本機が対応していないディスクチェンジャーを使用している。	●対応モデルのディスクチェンジャーをお使いください。（8ページ）

ディスプレイがポジ表示とネガ表示とに繰り返し切り替わる

原因	対策
「メニュー設定」の“Display N/P”項目が“AUTO”になっている。	「メニュー設定」(60ページ)の“Display N/P”項目を“POSI”に設定してください。“Display N/P”の機能の説明は「HELP Word」(96ページ)をご覧ください。

内蔵AUXを“OFF”に設定してもAUXソースに切り替わる

原因	対策
別売品のKCA-S210AのAUXスイッチがONになっている。	KCA-S210Aに付属の取扱説明書を見てAUXスイッチをOFFにしてください。

CD/Changer/KSF mode

ディスクが入らない

原因	対策
すでにディスクが入っている。	入っているディスクを取り出してから入れてください。

ディスクのプレイ中に振動で音飛びする

原因	対策
●取り付け角度が30゜を超えている。	●30゜以下になるように取り付けし直してください。
●取り付けが不安定になっている。	●しっかりと取り付けし直してください。なお、駐停車中でも音飛びする場合や同じ場所で音飛びする場合はディスクに原因があります。

CD/MP3/WMA/AACをプレイできない

原因	対策
●ディスクが裏返しになっている。	●レーベル面を上にして入れ直してください。
●ディスクが異常に汚れている。	●「CDの取り扱い」(10ページ)を見て、ディスクをクリーニングしてください。
●結露している。	●しばらく放置してから使用してください。(8ページ)
●ディスクが内部的に検出されていない。	●リセットボタンを押してディスクを取り出しから、再度ディスクを挿入してください。(8ページ)

選曲操作をしても、目的の曲に切り替わらない

原因	対策
ランダムプレイがオンになっている。	ランダムプレイをオフにしてください。(17ページ)

同じ曲を繰り返しプレイするだけで、次の曲に進まない

原因	対策
トラックリピートがオンになっている。	トラックリピートをオフにしてください。(20ページ)

曲の先頭しかプレイされない

原因	対策
スキャンプレイがオンになっている。	スキャンプレイをオフにしてください。(16ページ)

チェンジャー内の同じディスクだけしかプレイされない

原因	対策
ディスクリピートプレイがオンになっている。	ディスクリピートプレイをオフにしてください。(20ページ)

曲が順にプレイされない

ランダムプレイがオンになっている。

ランダムプレイをオフにしてください。（17ページ）

ディスクが順に演奏されない

マガジンランダムプレイがオンになっている。

マガジンランダムプレイをオフにしてください。（18ページ）

ディスクがイジェクトできない

ディスクがイジェクト途中で止まっている。

CD EJECTボタンをディスクがイジェクトするまで押し続けてください。

文字がスクロールされない

- 表示部にすべての情報文字が表示されている。
- ディスクネームを表示しているため。

- 表示部に情報文字がすべて表示されている場合はスクロールされません。
- スクロール表示されるのはディスク/トラックタイトルとディスク/トラックテキスト、フォルダネーム、ファイルネーム、曲名／アーティスト名、アルバム名およびグループネームです。

スタンバイモードにするとCD/MP3/WMA/AACがディスクの先頭へ戻る

メニュー設定の“漢字優先”項目を変更した。

“漢字優先”項目の設定を行うと１曲目の演奏に戻ります。（60ページ）

マガジンランダムができない

ディスクが１枚しか入っていない。

ディスクを２枚以上挿入してください。

CD-R、CD-RWがプレイできない

- ファイナライズ処理を行っていない。
- CD-R/CD-RWに未対応のCDチェンジャーでプレイしている。

- CDレコーダーでファイナライズ処理を行ってください。ファイナライズ処理については、お使いのCD-R/CD-RWライティングソフトやCD-R/CD-RWレコーダーの説明書をご覧ください。
- CD-R/CD-RW未対応のCDチェンジャーではプレイできません。

トラックサーチできない

チェンジャー内でディスクをプレイ中に最初のトラックで前の曲へ、最後のトラックで先の曲へトラックサーチしようとしている。

ディスクリピート中などを除き、最初のトラックから最後のトラックへ、最後のトラックから最初のトラックへはトラックサーチできません。

ディスクを取り出せない

車両のACCスイッチをオフにしてから10分以上経過したため。

ACCスイッチをオフにしてからディスクを取り出せるのは10分以内です。10分以上経過した場合は、再度ACCをオンにしてからイジェクトボタンを押してください。

CD/Changer/KSF mode

CDテキストが表示されない

原因	対策
●使用しているディスクチェンジャーが1997年以前に発売のディスクチェンジャーで“O-N”スイッチがない。 ●使用しているディスクチェンジャーの“O-N”スイッチを“O”にしている。	●1998年以降に発売のディスクチェンジャーを使用してください。 ●ディスクチェンジャーの“O-N”スイッチを“N”にしてください。

タイトル表示に切り替えても“No Title”と表示される

原因	対策
ディスク/トラックタイトル、ディスク/トラックテキストが記録されていない。	ディスク/トラックタイトル、ディスク/トラックテキストが記録されたディスクをプレイしてください。

MP3/WMA/AAC

MP3/WMA/AACディスク、MP3/WMA/AACファイルがプレイできない

原因	対策
●ISO9660 level1/2, Joliet, またはRomeoに準拠して記録されていない。 ●MP3/WMA/AACファイルに拡張子が付いてない。 ●ディスクに傷や汚れがある。	●ISO9660 level1/2, Joliet, またはRomeo（78ページ）に準拠したディスクを使用してください。 ●MP3ファイルには“.MP3”、WMAファイルには“.WMA”AACファイルには“.M4A”を付けてください。 ●「CDの取り扱い」（10ページ）を見て、ディスクをクリーニングしてください。

MP3/WMA/AACファイルをプレイ中に音飛びする

原因	対策
ディスクに傷や汚れがある。	「CDの取り扱い」（10ページ）を見て、ディスクをクリーニングしてください。

MP3/WMA/AACディスクをプレイ時に雑音が入る/音が出なくなる

原因	対策
MP3/WMA/AACファイル以外のファイルに“.MP3”、“.WMA”または“.M4A”拡張子が付いている。	MP3/WMA/AACファイル以外のファイルに付いている“.MP3”、“.WMA”または“.M4A”拡張子を消去してください。

フォルダネーム/ファイルネームが正しく表示されない

原因	対策
●ISO9660 level1/2, Joliet, またはRomeoに準拠して記録されていない。 ●ライティングソフトで扱えない文字を使用して記録した。	●ISO9660 level1/2, Joliet, またはRomeo（78ページ）に準拠したディスクを使用してください。 ●ライティングソフトの取扱説明書を参照して使用できる文字で記録してください。

演奏時間表示が実際の演奏時間と一致しない

原因	対策
MP3/WMA/AACファイルの記録された状況により、演奏時間が一致しないことがあります。	—

MP3/WMA/AACディスクをプレイするまで時間がかかる

原因	処置
ディスクに記録されているフォルダ/ファイル/階層が多い。	最初にメディア内のすべてのファイルをチェックするため、多くのファイルが記録されているメディアを使用すると、プレイされるまで長時間かかる場合があります。

MP3/WMA/AACファイルが順番どおりにプレイされない

原因	処置
プレイさせたい順番どおりにライティングソフトで書き込まれなかったため。	ライティングソフトにより異なりますが、ファイル名の頭に“00”～“99”などと入力してから書き込むことで順番を設定できる場合もあります。

CD-RWに記録したMP3/WMA/AACファイルがプレイされない

原因	処置
CD-RWのフォーマットを簡易フォーマットで行ったため。	CD-RWをフォーマットするときは、フルフォーマットで行ってください。

MENU

ディスプレイの明るさが切り替わらない

原因	処置
●車両のライトスイッチがオフになっている。 ●イルミネーションコードが接続されていない。 ●「メニュー設定」の“Dimmer”項目が“OFF”に設定されている。	●車両のライトスイッチをオンにしたのち、再度ファンクションセットをオンにしてください。 ●「接続」（100ページ）を参照して正しく接続し直してください。 ●「メニュー設定」（60ページ）の“Dimmer”項目を“ON”に設定してください。

セキュリティコード項目が表示されない

原因	処置
●すでにセキュリティコードを設定してある。 ●「メニュー設定」の“DEMO Mode”項目が“ON”に設定されている。	●セキュリティコードを一度設定すると変更はできません。このため、ファンクションセット項目から削除されます。 ●「メニュー設定」（60ページ）の“DEMO Mode”項目を“OFF”に設定してください。

セキュリティコードを忘れた

原因	処置
セキュリティコードを調べることはできません。	ケンウッドサービスセンターにご相談ください。

画像のダウンロードができない

原因	処置
CD-R/CD-RWの作成方法に原因があることがあります。	『http://www.kenwood.net-disp.com』をご覧になり、CD-R/CD-RWを作成し直してください。

Name Set

DNPSができない

原因	対処
●マガジンランダムがオンになっている。 ●MP3/WMA/AACファイルをプレイしている。	●マガジンランダムを解除してください。 ●MP3/WMA/AACが収録されたメディアにDNPSはできません。

登録したはずのステーションネームが消えた

原因	対処
●31局目のステーションネームを登録した。 ●車両のバッテリーを交換などしたため。	●登録できるステーションネームは30局分です。 ●本機をバッテリーなどから外すとステーションネームは消去されます。

設定したはずのAUXネームが“AUX”と表示される

原因	対処
本機をバッテリーから外したため。	本機をバッテリーから外すとAUXネームは“AUX”に戻ります。

ディスクネームがまちがって表示される

原因	対処
総録音時間とトラック数が同じディスクがすでに登録されている。	識別する方法はありません。

登録したはずのディスクネームが消えた

原因	対処
●51枚目のディスクネームを登録した。 ●本機をバッテリーから外したため。	●登録できるディスクネームは本機のCDプレーヤーとCDチェンジャーを合わせて50枚分です。 ●本機をバッテリーから外すとディスクネームは消去されます。

オーディオコントロール/サウンドマネジメントシステム/イコライザーコントロール

サウンドマネジメントモード、イコライザーコントロールモードにならない

原因	対処
DSP設定をBypassにしている。	「DSP設定」(57ページ)をThroughにしてください。

音場効果が得られない

原因	対処
● 2スピーカーシステムになっている。	● 4スピーカーシステムにしてください。
● フロントスピーカーとリアスピーカー、あるいは右スピーカーと左スピーカーが逆に接続されている。 ● スピーカーの極性が逆に接続されている。	● 「接続」(100ページ)を参照して正しく接続し直してください。
● フェダーまたはバランスの調整が片側に片寄っている。	● 「オーディオコントロール」(44ページ)を参照して、フェダーやバランスを中央に調整してください。
● DSP設定をBypassにしている。	● 「DSP設定」(57ページ)をThroughにしてください。

イコライザーを調整しても効果が現れない

原因	対処
1つの周波数だけを調整している。	調整した周波数の周囲の周波数も調整してください。

Help

システムの状態を以下のように表示してお知らせします。

Error 77 ：何らかの原因で正常に動作していない。
➡本機のリセットボタンを押してください。“Error 77”の表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。

Hold Error ：ディスクチェンジャー（別売品）の内部温度が60℃以上になると保護回路が働き、動作しなくなることがあります。このときこの表示が出ます。
➡ディスクチェンジャーの取り付け場所の温度を下げてから使用してください。

Mecha Error ：●ディスクマガジンに異常がある。
➡ディスクマガジンを取り出して、ディスクマガジン内を確認してください。
●何らかの原因で正常に動作していない。
➡イジェクトボタンを押してください。イジェクトボタンを押しても表示が消えないときは本機のリセットボタンを押してください。なお、表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。

Load (点滅) ：ディスクチェンジャー内のディスクを交換中です。

Reading ：ディスクに収録されているデータのチェック中です。

CODE ---- ：セキュリティコード入力要求表示です。

画像のダウンロード中の異常を以下のように表示してお知らせします。

Can't Dawnload または Download Error：
●ファイルのダウンロード中に読み込みを失敗した。
➡再度ダウンロードを行ってください。
●何らかの原因で正常に動作していない。
➡リセットボタンを押して再度ダウンロードを行ってください。再度、表示される場合はお近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。

No Display File：CD-R/CD-RWにダウンロードが可能なファイルがありません。
➡『http://www.kenwood.net-disp.com』で作成したCD-R/ CD-RWにダウンロード可能なファイルが入っていることを確認してください。
なお、作成時についている拡張子（.kbmまたは.KBM）は削除しないでください。

Incorrect File：使用できないフォーマットのファイルをダウンロードしようとした。
➡CD-R/ CD-RWを作成し直してください。

Writing Error：ファイルの書き込みに失敗した。
➡再度ダウンロードを行ってください。

無効な操作を以下のように表示してお知らせします。

Error 05　：ディスクが裏返しになっている。

Eject　：●ディスクマガジンがセットされていない。
●ディスクマガジンが完全に入っていない。
など

No Disc　：ディスクマガジンにディスクが1枚も入っていない。

TOC Error　：●ディスクが異常に汚れている。
●ディスクが裏返しになっている。
●ディスクに傷が多く付いている。
●ディスクが入っていない。
●トレイが入っていない。

No Name　：●ディスクネームプリセットされていないディスクを演奏中に、ディスク名を表示しようとした。
●ディスプレイタイプ表示切り替えでソース表示/2行表示の時、文字表示 3 / 4 にSNPSを設定した。
●ディスプレイタイプ表示切り替えで 4 行表示の時、文字表示 2 / 3 / 4 にSNPSを設定した。

No Track Disc　：演奏しようとしたMDに何も録音されていない。

Blank Disc　：演奏しようとしたMDにデータが1つも記録されていない。

Unsupported File：
サポートされていないMP3/WMA/AACフォーマットのファイルをプレイしようとした。

Copy Protecton：
コピープロテクトされているWMA/AACファイルをプレイしようとした。

DEMO MODE (点滅)：
本機の機能をディスプレイに表示するデモンストレーションモード中です。解除するにはデモンストレーションモードをオフ（69ページ）にしてください。

Help ? Word

共通

AAC
（エーエーシー）
正式名「Advanced Audio Coding」の略称です。
デジタル放送などに使用されている画像圧縮方法のオーディオ部分のみの圧縮規格です。
本書ではこの方式を使用したオーディオファイルを指す場合もあります。使用できるAAC収録メディアの種類やフォーマットなどは「Help? MP3/WMA/AAC」（78ページ）および詳しい対応フォーマットに関する情報は、下記URLをご覧ください。http://www.kenwood.mediamanager.jp

ACDriveディスク
（エーシードライブディスク）
Media Manager で作成したオーディオ用CD-R/CD-RWディスクです。プレイモード、ボイスインデックス（アナウンス機能）、アルバムアートなど本機に付属のPCアプリケーションソフトウエアーで多彩な機能を追加できます。

LX BUS TVモニター
（エルエックスバステレビモニター）
外部接続された別売品のテレビモニターやナビゲーションシステム（HDX-710）です。

LX アンプ
（エルエックスアンプ）
外部接続された別売品のアンプです。

MP3
（エムピイスリー）
正式名「MPEG Audio Layer 3」の略称です。MPEG AudioはDVDやVideo CDなどに使用されている画像圧縮方法のオーディオ部分のみの圧縮規格です。
本書ではこの方式を使用したオーディオファイルを指す場合もあります。
使用できるMP3収録メディアの種類やフォーマットなどは「Help? MP3/WMA/AAC」（78ページ）をご覧ください。

MP3 ID3 Tag
（エムピイスリーアイディスリータグ）
MP3ファイルの情報データです。曲のタイトルやアーティスト名、収録アルバム名などが記録されています。

WMA
（Windows Media™ Audio）
米国マイクロソフト社が開発した音声圧縮符号化方式「Windows Media™ Audio」の略称です。
本書ではこの方式を使用したオーディオファイルを指す場合もあります。
使用できるWMA収録メディアの種類やフォーマットなどは「Help? MP3/WMA/AAC」（78ページ）をご覧ください。

交通情報：TI
（トラフィックインフォメーション）
高速道路上などでは決められた周波数で交通情報を放送しています。
CDやMDなどを聴いていても、すばやく交通情報の周波数を選択することができる機能です。

ディスクチェンジャー
外部接続された別売品のCDチェンジャー（KDC-C469, KDC-C520など）、マルチメディアプレーヤー（VD-C77）です。

オーディオコントロール/サウンドマネージメントシステム/イコライザーコントロール

---

dBイコライザー
（ダイナミックブーストイコライザー）
ジャンル別に設定された効果には以下のような特徴があります。

Natural： 自然な音を再現します。
Rock： スピーディーで力強いアタック音を再現します。
Pops： 中高域をメインにしたリズミカルな音を再現します。
Easy： 中低域をベースにした味わい深いサウンドを再現します。
Top40： ビートの利いた音を再現します。
Jazz： ウッドベースの音階やボーカルの質感を鮮明に再現します。

Dual Zone システム
（デュアルゾーンシステム）
フロントチャンネルとリアチャンネルに、別々の音声を出力するシステムです。本機では内蔵AUX（“AUX”）に接続した機器の音声を、フロントまたはリアチャンネルに設定することができます。

- 内蔵AUX(サブソース)は、「メニュー設定」の“Zone 2”（60ページ)で設定します。
- メインソースは「ソース選択」(14ページ)で設定します。
- フロントの音量はVOLで調節します。
- リアの音量は「オーディオコントロール」の“REAR VOLUME”（44ページ)またはリモートコントロールの“R.VOL”(73ページ）で調節します。

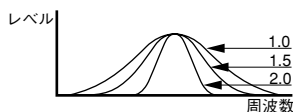
FREQ
（フリケンシイ）
低音、中音、高音を調節する周波数（中心周波数）を、この機能を使って設定することができます。

HPF Slope
（ハイパスフィルタースロープ設定）
HPF-F/HPF-Rで設定した帯域の音をカットするときの減衰量を設定する機能です。
１オクターブあたりの減衰量をdBで設定します。
スピーカーに応じたスロープ設定により、特に超低域をカットすることにより、音にならない不要な振動を抑制できます。

HPF-F/HPF-R
（ハイパスフィルター）
サブウファーを追加するとき、この機能を使って中・高音用のスピーカーから低音を削除することができます。
設定した周波数より低い音域をカットします。“Through”に設定すると、この機能を無効にすることができます。

LPF-SW
（ローパスフィルター）
サブウーファー出力から高音を削除することができます。サブウーファー出力をサブウーファー用として使用するときに、この機能で低域のみの音にすることができます。
設定した周波数より高い音域をカットします。これにより効率の良い低域再生が可能となります。“Through”に設定すると、この機能を無効にすることができます。

LPF-SW Slope
（ローパスフィルタースロープ設定）
LPFで設定した帯域の音をカットするときの減衰量を設定する機能です。
１オクターブあたりの減衰量をdBで設定します。

Q Factor
（クォリティファクタ）
低音、中音、高音の調節スロープを設定する機能です。設定値が大きくなるほどスロープの傾斜が大きくなります。

オーディオコントロール/サウンドマネージメントシステム/イコライザーコントロール

SRS WOW

本機では、米国SRS社のWOW回路により、サウンドに大迫力の重低音を付加したり、立体的な音場にして再生することができます。
SRS WOWの効果は、イコライザーコントロール（56ページ）の【WOW】調整項目で設定することができます。

FOCUS：　フロントスピーカーの音像の位置を縦方向（上方向）に移動するとともに音の輪郭を調節します。

SRS Tru Bass (TB-F/R)：原音に含まれている信号からバランスのとれた重低音を再現することができます。

SRS 3D：　奥行き感のある立体的な音場にすることができます。車室内のどこででも立体的で最適な音を聴くことができます。

SRS WOW：　“FOCUS”、“TB-F/TB-R”および“SRS 3D”の値を一括で設定することができます。

SRS WOW	FOCUS	TB-F/TB-R	SRS 3D
High	8	4	4
Middle	6	3	2
Low	3	2	1
User	「WOWコントロール」で設定した値を呼び出します。		
Through	OFF	OFF	OFF

Volume Offset

（ボリュームオフセット）

オーディオコントロールで“VOLUME OFFSET”を設定すると、聴く時点での音量に対して、各ソースごとで音量差を設定しておくことができます。

オフセット デュアル ディファレンシャル D/A システム

（Offset Dual Differential D/A System）

デジタル信号とオフセットした信号を作ります。
フロント信号を左右別々のD/Aコンバーターで処理することにより、セパレーションが良く、ノイズ、歪みのの少ないアナログ音声に変換できるシステムです。

タイムディレイ

フロント、リア、サブウーファーから出力される音を遅延させることにより、スピーカーの位置を擬似的にずらすことができる機能です。車種やスピーカー取り付け位置にとらわれずに最適な効果が得られます。

MENU

ACD F/W Version
（ACDriveファームウェアバージョン）
ドライブユニットのファームウェアのバージョンを表示します。

ACD Unique ID
（ACDriveユニークアイディ）
ドライブユニットの製造番号を表示します。

AMP Bass
（アンプバスコントロール）
EXT.CONT.コードで接続した別売品のB.M.S機能搭載パワーアンプの、低音域の増幅量をこの機能でコントロールできます。
変更される値や変更時のアンプ側の動作はアンプにより異なります。詳しくは接続しているパワーアンプに付属の取扱説明書をご覧ください。
B.M.S機能搭載アンプについては、カタログをご覧ください。

AMP Control
（アンプコントロール）
EXT.CONT.コードで接続した別売品のパワーアンプの各種設定をおこなうことができます。
また、電圧/消費電流/内部温度/電動ファン回転数などパワーアンプの各種情報も表示されるため、パワーアンプがどのような状態で動作しているのか瞬時に確認することができます。
コントロールできる項目の詳細についてはLXアンプに付属の取扱説明書をご覧ください。

AMP FREQ
（アンプフリケンシィ）
“AMP Bass”で設定した低音増幅の中心周波数を調整する機能です。
“Low”に設定すると、周波数が20～30%低くなります。

AMP
（アンプ出力）
フロントスピーカー、リアスピーカーともプリアウト端子にパワーアンプを接続してシステムを組んでいるようなときは、この機能を“OFF”に設定することにより、内蔵アンプの稼働を停止させることができます。
内蔵アンプの稼働を停止させると、プリアウトからの音声出力のクォリティをアップさせることができます。

Beep
（ビープ）
ボタンを押したときに、押されたことが確認できるように“ピッ”音がする機能です。押してすぐ離したときには“ピッ”と鳴り、1秒以上または2秒以上押して機能をオンにしたときには“ピッピッ”と鳴ります。うるさく感じたときには“OFF”に設定することにより消すことができます。
なお、Beep音はプリアウトからは出力されません。

CD Read
（CD リード）
特殊なフォーマットのCDをプレイ時に、正常にプレイができない場合に“CD Read 2”を設定すると強制的にCDをプレイすることができる機能です。なお、“CD Read 2”に設定しても、音楽CDによってはプレイできない場合があります。また、“CD Read 2”に設定するとMP3/WMA/AAC/ACDriveディスクのプレイはできなくなります。通常は“CD Read 1”でお使いください。

CD Read 1： MP3/WMA/AAC/CDプレイ時にMP3/WMA/AAC/ACDriveディスクと音楽CDを自動認識して再生します。
CD Read 2： 音楽CDとして強制的にプレイします。

Dimmer
（ディマー）
この機能を“ON”に設定しておくと、車両のライトスイッチに連動して、ディスプレイの明るさを切り替えることができます。

MENU

DISP Data Download
(画像データのダウンロード)
動画や壁紙をCD-R/CD-RWから本機にダウンロードしてディスプレイに表示することができる機能です。ダウンロードできるファイルやCD-R/CD-RWの作成方法は『http://www.kenwood.net-disp.com』をご覧ください。

Display N/P
(ディスプレイ反転、ポジ固定切り替え)
ディスプレイの表示設定が固定表示（文字表示など）のとき、または壁紙表示を固定したときに本機を約60秒間操作しないと自動的に表示部が反転する機能です。表示を切り替えることにより表示部の明るさを長時間継続できます。ディスプレイの反転表示は10秒間隔で行われます。解除するときは、“Display N/P”を“POSI”にします。

DSI
(ディセイブルシステムインジケーター)
この機能をオンにしておくと、パネルを外したときにLEDが点滅し、盗難防止警告ランプの代用として使用できます。

NAV Guide
(ナビガイド)
カーナビゲーションの音声ガイド時の本機の動作を設定することができます。この機能を使用する場合は、本機とナビゲーションシステムのラインミュート端子またはミュート端子を接続してください。

ATT： ナビ音声ガイド時は、オーディオの音を小さくします。

INT： ナビ音声ガイドをフロントスピーカーから出力します。

この機能を“INT”に設定して、ナビ音声ガイドの割り込みをする場合は、「接続」（100ページ）を参照して、AUX入力にナビゲーションシステムを接続してください。
ケンウッド製カーナビゲーションシステムを接続してこの機能を使用する場合は、ナビゲーションシステムの「オーディオATT」機能をオン、または「オーディオ接続設定」機能を設定してください。
また、2001年以前に発売のケンウッド製ナビゲーションシステムを接続している場合は「音声割り込み」機能もオンに設定してください。
なお、この機能は1997年以前に発売のケンウッド製ナビゲーションシステムやケンウッド製以外のカーナビゲーションで使用すると正常に動作しない場合があります。

MONO
(モノラル)
この機能でFMステレオ放送をモノラル音声にすることができます。
受信状態の悪いFM放送局を聴いているときに、音声をモノラルにすると雑音が軽減されて聞き易くなるときがあります。

Scroll
(スクロール)
ディスプレイにディスク/トラックタイトル、ディスク/トラックテキスト、グループタイトル、フォルダネーム、ファイルネーム、曲名/アーティスト名またはアルバム名を選択しているとき、文字数が多いため表示しきれない場合にスクロールして表示する機能です。
この機能を“Auto”に設定しておくとスクロール表示を繰り返し行い、“Manual”に設定しておくと表示が変わったときだけ１回スクロール表示するようにできます。

Security
(セキュリティコード)
セキュリティコードを設定しておくと、本機の電源コードを外したときやリセットボタンを押したときなどの、次に初めて使うときは、設定したセキュリティコードを入力しないと電源がオンできないようになります。すなわち、本機を車両から外したときは、セキュリティコードの入力が必要になるため、盗難防止の手助けとなります。

Seek Mode
(シークモード)
放送局の探し方を設定することができます。
Auto 1：放送局を自動的に見つけ出します。
Auto 2：メモリーされている放送局を順番に受信します。
Manual：1ステップずつ周波数が変わります。

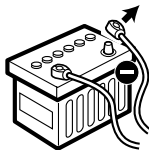
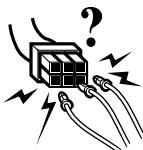
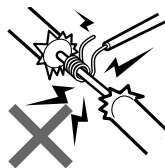
Voice Index
(ボイスインデックス)
Media Managerで作成したACDriveディスクの音声ガイドを再生します。

Zone 2
(ゾーンツー)
「Dual Zoneシステム」(93ページ) をご覧ください。

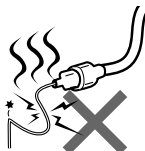
漢字優先
CDテキストなどが漢字およびカタカナまたはローマ字で記録されているディスクを聴いているときに、これらを漢字で表示するか、カタカナまたはローマ字で表示するかの設定ができます。
ON ：漢字で表示（漢字が登録されていない場合は、カタカナまたは英/数文字で表示）
OFF：カタカナまたは英/数文字で表示

取り付け時のご注意

⚠ 警告

大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。本製品はDC12V㊀アース車専用です。

配線作業中は、バッテリーの㊀端子を外してから行ってください。
ショート事故による感電やケガの原因となります。

本製品の配線は必ず、取扱説明書に記載してある通りに行ってください。
配線を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。

コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。

本製品を前方の視界を妨げる場所や、運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けないでください。交通事故やケガの原因となります。

本製品を取り付けの際には、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取付用付属品をご使用にならないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起こるおそれがあります。
また、取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど、ケガの原因となります。

車両電源配線用コード以外で延長しないでください。
コードの被覆が破れやすく、ショート・発熱事故による火災が起こるおそれがあります。
また、電流容量オーバーにより、火災が起こるおそれがあります。

車両の板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。
コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。

アースコードを、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けないでください。事故などの原因となります。

バッテリー電源（黄）を接続する車両側電源のヒューズ容量が、本機のヒューズ容量（10A）以上であることを確認してください。
また、別売品のパワーアンプなどを接続する場合は、それらと本機との総ヒューズ容量が車両側のヒューズ容量以下であることを確認してください。もし、超える場合には、バッテリーから直接電源を取ってください。
車両側のヒューズ容量を超える電源を接続すると、リード線の電流容量オーバーにより、火災などの事故の原因となります。

電源がオンにならない場合や、オンになってもすぐにオフになる場合は、スピーカーコードがショートしていたり、車の金属部分に接触して、プロテクション機能が働いている可能性があります。このような場合はスピーカーコードの配線を確認してください。

車体に穴を開けて取り付ける際は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認のうえ、これらと当たったり接触することがないようにしてください。火災の原因になります。

本製品の取り付け終了後に、車のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウィンカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。

本製品、または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因になります。

事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

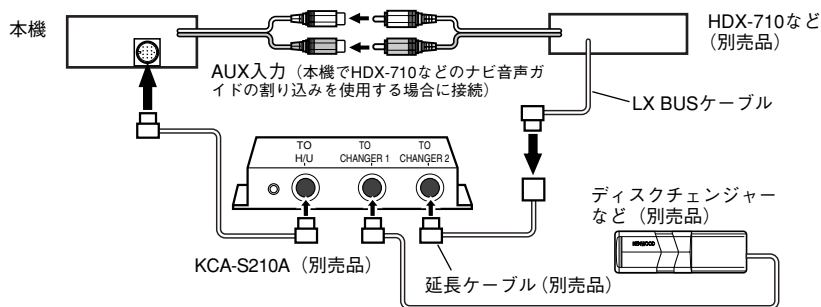
接続

実施 **初めにエンジンキーが抜かれていることを確認後、ショート事故防止のため必ずバッテリーの⊖端子を外してください。**

1. エンジンキーを抜きます。
2. 各セットの入・出力コードを確かめて接続します。
3. 電源ハーネスのスピーカーコードを接続します。
4. 電源ハーネスをアースコード（黒）、バッテリー電源コード（黄）、アクセサリー電源コード（赤）の順に接続します。
5. 電源ハーネスのコネクターを本機に接続します。
6. 取り付け終了後に、バッテリーの⊖端子を接続します。
7. 電源をオンします。
8. 本機のリセットボタン（8ページ）を押します。

AUX入力
AUX IN
ビデオ/ナビゲーションシステム
など（別売品）
ナビゲーションシステムの音声出力は、AUX入力に接続します。
フロント出力
FRONT
パワーアンプ（別売品）
フロントスピーカー
サブウーファー出力
SUB WOOFER
パワーアンプ（別売品）
サブウーファー
リア出力
REAR
パワーアンプ（別売品）
リアスピーカー
アンテナ入力
車両アンテナ端子
ミュート入力（茶）をケンウッド製以外のカーナビゲーションシステムに接続すると誤動作する場合があります。誤動作する場合は、「メニュー設定」（60ページ）の“NAV Guide”項目を“OFF”に設定してください。
電源
ハーネス
（付属）
●別売品のディスクチェンジャーやCDプレーヤーにO-Nスイッチが付いている場合は“N”に設定してください。
●別売品のKCA-S210Aを接続する場合は、KCA-S210A付属の取扱説明書で“Dユニット”項目を参照してください。
ANT CONT
アンテナコントロール（青）
オートアンテナのコントロール端子やガラスプリントアンテナのブースターアンプの電源端子へ接続してください。
接続しない場合はキャップを付けたままにしてください。
P.CONT
パワーコントロール（青/白）
別売パワーアンプのパワーコントロール端子へ接続してください。接続しない場合はキャップを付けたままにしてください。
MUTE
ミュート入力（茶）
ケンウッド製ナビゲーションシステムのラインミュート端子またはミュート端子に接続してください。
ILLUMI
イルミネーション（橙/白）
車両のイルミネーション電源端子に接続してください。
EXT. CONT
外部アンプコントロール（桃/黒）
別売パワーアンプの外部アンプコントロール（"EXT.AMP.CONT."）端子に接続してください。
接続しない場合はキャップを付けたままにしてください。
ヒューズ
ACC
アクセサリー電源（赤）⊕
エンジンキーでオン/オフできる電源へ接続してください。
アクセサリー電源
エンジンキー
BATT
バッテリー電源（黄）⊕
メインヒューズを通ったあとで、エンジンキーのオン/オフに関係なく常に電圧のかかっている電源へ接続してください。
バッテリー電源
メインヒューズ
アース（黒）⊖
車の金属部分（バッテリーのマイナス側と導通しているシャーシなどの一部）へ接続してください。
バッテリー

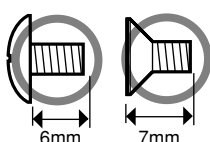
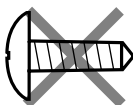
接続

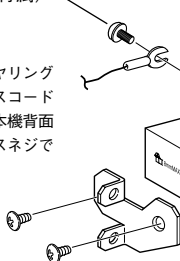
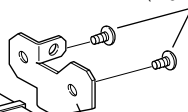
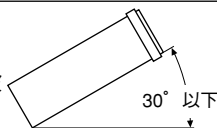
KCA-S210A（別売品）を使ってLX BUS TVモニターを接続する場合

- KCA-S210Aに付属の取扱説明書で“Dユニット”項目を参照してください。
- 別売品に“O-Nスイッチ”がある場合は“N”に設定してください。
- HDX-710などは、KCA-S210Aの“TO CHANGER2”端子に接続してください。
- HDX-710などでナビ音声ガイドの割り込みを行う場合は「メニュー設定」（60ページ）の“NAV Guide”項目を“INT”にして、LX BUSケーブルを接続してください。

取り付け

付属のトラスネジ（M5 × 6mm）またはサラネジ（M5 × 7mm）を4本使用して車両ブラケットなどに取り付ます。

取り付けには必ず付属のネジをご使用ください。
付属以外の長いネジを使用すると、本機内部が破壊したり、発煙することがあります。
また、短いネジを使用すると、本機が取付ブラケットなどから外れることがあります。

付属取付ネジ　　6mm　7mm

その他のネジ

付属ネジ一覧

トラスネジ（M5 × 6mm）	………………	4
サラネジ（M5 × 7mm）	………………	4
セムスネジ（M4 × 8mm）	………………	1

●本機の取り付け角度は30゜以下になるように取り付けてください。30゜以上の角度で取り付けると音飛びの原因になります。
●操作パネルを持って取り付け／取り外しをしないでください。破損することがあります。

別売品のワイヤリングキットや取り付けキットを使用することにより、車にベストフィットした取り付けができます。キットは取り付ける車種に応じて用意されています。詳しくはカタログをご覧ください。

保証とアフターサービス

保証について

●保証書
この製品には、保証書を別途添付しております。
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

●保証期間
お買上げの日より **1年**です。

修理を依頼されるときは

「Help? Operation」を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所にお問い合わせください。(別紙“ケンウッド全国サービス網”をご参照ください。)

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容がすべて消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

● 保証期間中は…
保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所が修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。

本機以外の原因(衝撃や水分、異物の混入など)による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間経過後は…
お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後**6年**です。
(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

● 持込修理
この製品は持込修理とさせて頂きます。

- 本機をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒にお持ちください。
(本機や一緒に持ち込まれるユニット内のディスクやテープなどのメディアはあらかじめ取り出してください。)
- 製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

● 修理料金のしくみ(有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。)

- 技術料:故障した製品を正常な状態に修復するための料金です。
技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
- 部品代:修理に使用した部品代です。
その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご遠慮なくお問い合わせください。

仕様一覧

FMチューナー部

受信周波数範囲（周波数ステップ）	76.0 MHz～90.0 MHz (100 kHz)
実用感度（S/N:30 dB）	9.3 dBf (0.8 μV/75 Ω)
S/N 50 dB感度	15.2 dBf (1.6 μV/75 Ω)
周波数特性（±3.0 dB）	30 Hz～15 kHz
S/N比	70 dB (MONO)
選択度（±400 kHz）	80 dB以上
ステレオセパレーション	40 dB (1 kHz)

AMチューナー部

受信周波数範囲（周波数ステップ）	522 kHz～1629 kHz (9 kHz)
感度	28 dBμ (25 μV)

CDプレーヤー部

レーザーダイオード	GaAlAs
デジタルフィルター	8倍オーバーサンプリング
D/Aコンバーター	1 Bit
ワウ & フラッター	測定限界以下
周波数特性	10 Hz～20 kHz (±1 dB)
高調波歪率	0.008 % (1 kHz)
回転数（MP3/WMA/AAC）	1000～400 rpm（線速度一定・倍速）
S/N比	110 dB (1 kHz)
ダイナミックレンジ	93 dB
チャンネルセパレーション	96 dB
MP3デコード	MPEG-1/2 Audio Layer-3準拠
WMAデコード	Windows Media™ Audio 準拠
AACデコード	AAC-LC形式 “.m4a” ファイル

オーディオ部

最大出力	50 W × 4
定格出力	30 W × 4 （4 Ω, 1kHz, 10%THD以下）
プリアウトレベル	5000 mV/10 kΩ（CD/CD-CHプレイ時）
プリアウトインピーダンス	80 Ω以下
トーン・コントロール（Band 1）	60 Hz～200 Hz ± 9dB
（Band 2）	250 Hz～1 kHz ± 9dB
（Band 3）	1.25 kHz～4 kHz ± 9dB
（Band 4）	5 kHz～16 kHz ± 9dB
AUX入力周波数特性	20 Hz～20 kHz (±1 dB)
AUX入力最大電圧	1200 mV
AUX入力インピーダンス	100 kΩ

電源部

電源電圧	14.4 V (11～16 V)
最大消費電流	10 A

寸法・質量

埋込寸法（W × H × D）	178 × 50 × 160 mm
質量（重さ）	1.65 kg

付属部品

電源ハーネス	1本
サラネジ（M5 × 7mm）	4本
トラスネジ（M5 × 6mm）	4本
セムスネジ（M4 × 8mm）	1本
リモコン	1個
電池（単3形）	2個
アプリケーションCD-ROM	1枚
Media Manager インストール説明書	1冊

※これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

KENWOOD

株式会社 ケンウッド
〒192-8525　東京都八王子市石川町2967-3

- 商品に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。
  電話　(045)933-5212、(06)6394-8085（横浜へ自動転送されます。大阪市内への通話料でご利用いただけます）
  FAX　(045)933-5553
  住所　〒226-0006 神奈川県横浜市緑区白山1-16-2
  受付時間　9:00～18:00（土、日、祝祭日および当社休日は休ませていただきます）
- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスステーション、サービスセンター、各営業所にご相談ください。